# 10 スイッチ

この章では、GP-Pro EX の「スイッチ」についての基本的な説明と、スイッチを配置するための基本 操作について説明します。

まず「10.1 設定メニュー」(10-2 ページ)をお読みいただき、目的に合ったスイッチの説明ページへ 読み進んでください。

10.1	設定メニュー	
10.2	ビットを操作するスイッチを作りたい	10-4
10.3	ビットを交互に ON/OFF したい	10-7
10.4	値を書き込みたい	10-10
10.5	値を加算・減算したい	10-13
10.6	条件つきで ON したい ( 比較 )	10-16
10.7	誤動作を防止したい(インターロック)	10-19
10.8	一定時間押し続けないと動作しない	10-22
10.9	指を離した後、一定時間待ってから OFF したい	10-25
10.10	ON していいか、タッチする前に確認したい(2度押し)	10-28
10.11	照光式スイッチを作りたい	10-31
10.12	スイッチ1つでいろいろやりたい	10-34
10.13	ラジオスイッチを作りたい	10-38
10.14	リストから機能が選択できるスイッチを作りたい	10-42
10.15	スイッチランプ部品の設定ガイド	10-46
10.16	セレクタリスト部品の設定ガイド	10-82
10.17	制限事項	10-105

# 10.1 設定メニュー





# 10.2 ビットを操作するスイッチを作りたい

- 10.2.1 詳細
  - ビットモーメンタリ



スイッチを押している間のみ、指定したビットが ON になります。 指を離すと OFF になります。

### 10.2.2 設定手順

- MEMO
   ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

   (3) 「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」(10-46 ページ)
  - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
     を参照してください。

<sup>②デ</sup>「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

タッチしている間だけビットアドレス (M100)を ON させるスイッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、 <br/>● をクリックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

参えイッチ/ランプ	×
部品ID SL_0000 <u></u>	スイッチ機能   スイッチ共通   ランプ機能   カラー   銘板
コメント 通常 <u>形状選択</u> □ 形状なし	<ul> <li>▼ スイッチ機能</li> <li>マルチファングションリスト</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットスイッチ</li> <li>レットス</li> <li>レ</li></ul>
	追加        前耶条        コピーして追加
ヘルプ( <u>H</u> )	OK(Q) キャンセル

4 [ビットアドレス]にタッチで操作したいビットアドレス(M100)を設定します。



5 [ビット動作]に[ビットモーメンタリ]が選択されていることを確認します。

ビット動作	
ビットモーメンタリ	•

MEMO • [ビット動作]を変更すれば、ビットを ON するスイッチ (ビットセット) やビット を OFF するスイッチ (ビットリセット) も作れます。

6 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をクリックします。

MEMO	• スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。	
	• スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[文字	2
	列テーブル]選択時は、表示する文字列テーブルが変更できます。	

# 10.3 ビットを交互に ON/OFF したい

10.3.1 詳細

ビット反転



スイッチを押すと、指定したビットが ON になります。(指を離しても状態は ON のままです。) 再度同じスイッチを押すと、指定ビットが OFF になります。(指を離しても状態は OFF のままです。) スイッチを押すごとにビットの状態が ON/OFF 交互に切り替わります。

### 10.3.2 設定手順

- MEMO
   ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

   (3) 「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」(10-46 ページ)
  - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
     を参照してください。

☞ 8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

タッチでビットアドレス (M100)を ON/OFF 反転させるスイッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、 をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

<i>参</i> えイ <del>ッ</del> チ/ランプ	×
部品ID SL_0000 三 コメント 通常 形状選択 下形状なし	スイッチ機能 マルチファングジョンリスト ビットスイッチ ビットスイッチ ビットスイッチ ワードスイッチ ビットアドレス 「PLC1]200000 ・ ランプからコピー ジットスーピー ビットサービー ビットサービー
	追加        前即除        二ピーして追加
ヘルプ(円)	OK(Q) キャンセル

4 [ビットアドレス]にタッチで操作したいビットアドレス (M100)を設定します。



5 [ビット動作]で[ビット反転]を選択します。

ビット動作	
ビット反転	•

6 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。

MEMO	•	スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。
	•	スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[文字
		列テーブル]選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。

# 10.4 値を書き込みたい

10.4.1 詳細

データ書き込み



スイッチを押すと、指定したワードアドレス(例:D00102)に定数データ(例:100)を書き込みま す。

### 10.4.2 設定手順

- MEMO
   ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

   (3)「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」(10-46 ページ)
  - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
     を参照してください。

☞ 8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

ワードアドレス(例:D102)に定数データ(例:100)を書き込むスイッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ワードスイッチ (W)]を選択するか、 をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

参えイッチ/ランプ	x
部品ID  SL_0000 三 コメント	スイッチ機能 スイッチ共通   ランプ機能   カラー   銘板
通常	ワードスイッチ     国家     国家     国家       ワードアドレス     [PLC1]D00000     国家       ランブからコピー     ランブへコピー
	ワード動作 データ書込み データ書込み データード データー アー アー アー アー アー アー アー
	□10527F ▼ 定数 □1
• <b>1</b> ⇒/10	
<u></u>	

4 [ワードアドレス]にデータを書き込みたいワードアドレス(D102)を設定します。



5[ワード動作]で[データ書込み]を選択します。

ワード動作	
データ書込み	•

6 [定数]に「100」を入力します。

ワード動作		データ形式	
データ書込み	-	Dec	•
		ビット長	
		16ビット	•
		定数	
		100	

7 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。

MEMO	• スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。
·	• スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[文字
	列テーブル]選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。

## 10.5 値を加算・減算したい

10.5.1 詳細

データ加算



スイッチを押すごとに、指定ワードアドレス(例:D102)の現在のデータ(例:98)に正の数の定数 データ(例:1)を加えた値を書き込みます。

### データ減算



スイッチを押すごとに、指定ワードアドレスの現在のデータ(例:101)に負の数の定数データ (例:-1)を加えた値を書き込みます。

### 10.5.2 設定手順

- MEMO
   ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

   (3) 「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」(10-46 ページ)
  - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
     を参照してください。

☞ 8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

ワードアドレス (D102) に格納されている値を1ずつ加算するスイッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ワードスイッチ (W)] を選択するか、 をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

<i>参</i> えイ <del>ッ</del> チ/ランプ	×	I
部品ID SL_0000 💼	スイッチ機能 スイッチ共通   ランブ機能   カラー   銘板	1
	<ul> <li>✓ スイッチ機能</li> <li>マルチファングションリスト</li> <li>ワードスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ワードスイッチ</li> <li>ロードアドレス</li> <li>[PLC1]D00000 ▼</li> <li>ランブハシロとー</li> </ul>	
 形状選択 ■ 形状なし	ワード動作     データ形式       データ書込み     ▼	
	ビット長 16ビット マル	
	日かか コピーして追加 一 株作ログの取得	
ヘルプ( <u>H</u> )	OK(Q) キャンセル	

4 [ワードアドレス]に加算した結果(値)が格納されるアドレス(D102)を設定します。

アイコンをクリックすると、 アドレス入力用キーボード が表示されます。	デバイス「D」を選択し、ア ドレスに「102」を入力して 「Ent」キーを押します。	
ワードアドレス [PLC1]D00000 クリック	※ PFレス入力 接続機器 PLC1 ▼ D ▼ 102 Back Clr A B C 7 8 9 D E F 4 5 6 1 2 3 0 Ent   PLC1 ▼	ワードアドレス [PLC1]D00102

5 [ワード動作]で[データ加算]を選択します。

ワード動作	
データ加算	•

6 [加算元ワードアドレス]に加算する元のデータが格納されているアドレス(D102)を設定し、[定数]に「1」を入力します。

ワード動作			データ形式	
データ加算	-		Bin	•
加算元ワードアドレス			定数	
[PLC1]D00102	-	+	1	= #
			□ 連続加算機能	

7 必要に応じて [カラー] タブ、[銘板] タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK] をク リックします。

MEMO	•	スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。
<ul> <li>スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[</li> <li>列テーブル]選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。</li> </ul>		

# 10.6 条件つきで ON したい(比較)

### 10.6.1 詳細

比較



スイッチを押すと、あるワードアドレスのデータ(例 128)と設定した「定数」(例 64)を比較しま す。条件(例「ワードアドレスデータは定数より大きい」)が成立した場合、指定したビットが ON になります。

### 10.6.2 設定手順

MEMO	• 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。			
	<sup>C愛「</sup> 10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」( 10-46 ページ )			
	<ul> <li>部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」</li> <li>を参照してください。</li> </ul>			

<sup>②デ</sup>「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

タッチによって、ワードアドレス(D102)の値が「64」より大きいときだけ指定したビットアドレス (M100)を ON させるスイッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、 <sup>●</sup> をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

🏄 スイッチ/ランプ	×
<ul> <li>▲ スイッチ/ランプ</li> <li>部品ID</li> <li>SL_0000 当</li> <li>コメント</li> <li>通常</li> <li>         形状選択     </li> <li>         形状なし     </li> </ul>	スイッチ共通       ランブ機能       カラー       銘板         マ スイッチ供能       マルチファングションリスト       マンクチングションリスト       マンクトアレス       アードスイッチ       画面切替       特殊スイッチ       セレクタスイッチ         ビットスイッチ       ビットアドレス       アードレス       アードレス       アードレス       アードレクト       アードレクト         ジンガがらコピー       ランブからコピー       ランブからコピー       ランブからコピー       ビット       ビット       ビット         道加       ・       ・       ・       ・       ・       ・       ・         道加       ・
ヘルプ( <u>H</u> )	

4 [ビットアドレス]にタッチで操作したいビットアドレス(M100)を設定します。



5 [ビット動作]で[比較]を選択します。

ビット動作	
比較	•

6 [比較用ワードアドレス]に比較を行うワードアドレス(D102)を設定し、[比較条件]で「>」を 選択、[定数]に「64」を入力します。

ビット動作		データ形式
比較	-	Dec 💌
比較用ワードアドレス	比較条件	定数
[PLC1]D00102	💌 🔜 区	▼ 64 🗄 III

7 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。

МЕМО	• スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。
	• スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[ 文字
	列テーブル]選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。

# 10.7 誤動作を防止したい(インターロック)

### 10.7.1 詳細



インターロックアドレスで設定されたビットアドレスが、タッチ有効条件と成立した場合のみタッチ 操作を有効にします。

タッチ有効条件が「ビット ON」の場合 :設定したインターロックアドレスが ON のときだけタッ チ操作ができます。

タッチ有効条件が「ビット OFF」の場合 :設定したインターロックアドレスが OFF のときだけタッ チ操作ができます。

### 10.7.2 設定手順

МЕМО	•	設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
		<sup>〔愛~</sup> 「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」( 10-46 ページ )
	•	部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
		を参照してください。

<sup>②デ</sup>「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

指定したビットアドレス(M105)が OFF しているときだけ、ビットアドレス(M100)を ON するス イッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、 <sup>●</sup> をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

🏄 スイッチ/ランプ	×
部品ID SL 0000 干	スイッチ機能 スイッチ共通   ランプ機能   カラー   銘板
□ J×ント 通常 形状違択 「形状なし	<ul> <li>▼ スイッチ機能</li> <li>マルチファングジョンリスト</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>● 画面切替</li> <li>特殊スイッチ</li> <li>セレクタスイッチ</li> <li>ビットアドレス</li> <li>ジェドル</li> <li>「PLC1]200000</li> <li>・</li> <li>・</li></ul>
	<u> </u>
<u>へルプ(H)</u>	OK(Q)キャンセル

4 [ビットアドレス]にタッチで操作したいビットアドレス(M100)を設定します。

アイコンをクリックすると、 アドレス入力用キーボードが 表示されます。	デバイス「M」を選択し、ア ドレスに「100」を入力して 「Ent」キーを押します。	
ビットアドレス [PLC1]X00000 ・ (ロ クリック)	アドレス入力     ×       接続機器     PLC1     ▼       M     100       Back     .     CIr       A     B     C       D     E     F       4     5     6       1     2     3       0     Ent       IV     IV	ビットアドレス [PLC1]M000100 💌 🥅

5 [ビット動作]で[ビットセット]を選択します。

ビット動作	
ビットセット	•

6[スイッチ共通]タブを開き、[アドレスを使用する]にチェックを入れます。

[インターロックアドレス] にタッチの有効 / 無効をコントロールするビットアドレス (M105)を設 定し、[タッチ有効条件] で [ ビット OFF 時有効 ] を選択します。

2	スイッチ機能 スイッチ共通 ランブ機能   カラー   銘板
	一人、カーロッカ都を
	-1 ノダニロック1版記
	▶ アドレスを使用する
	インターロックアドレスタッチ有効条件
	PLCTJMUUUTU5 🔄 🧰 🗢 ビットON時有効 💿 ビットOFF時有効
	□ セキュリティレベルを使用する レベル 1

7 必要に応じて [カラー] タブ、[銘板] タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK] をク リックします。

МЕМО	<ul> <li>スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。</li> <li>スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[文字列 テーブル]選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。</li> <li>インターロック機能が動作中であることを、スイッチの色や銘板を変えて示したい場 合は、[スイッチ共通]タブの[詳細]で[インターロック中状態表示を設定します] にチェックを入れます。[カラー]タブ、[銘板]タブの[状態選択]で[インターロッ ク中]が設定できます。</li> </ul>
	スイッチ機能       スイッチ機能       ランプ機能       カラー       銘板         インターロック機能       アドレスを使用する       タッチ有効条件         「PLC1]M000105       ●       ●       ○       ビットのN時有効         「セキュリティレベルを使用する       レベル       1       1         マ インターロック中状態表示を設定します       ●       ●       ●       ●

10-21

10.8 一定時間押し続けないと動作しない

### 10.8.1 詳細



一定の時間(例3秒)を押し続けると、指定ビットがONになります。誤った入力を防ぐのに適しています。

スイッチが有効になる前に指を離した場合はスイッチ操作は無効となり、ブザーは鳴りません。 また、スイッチの外観は OFF 時のイメージに戻ります。

### 10.8.2 設定手順

- MEMO
   ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。

   (2) 「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」(10-46 ページ)
  - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
     を参照してください。

☞「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

タッチしてから3秒後にビットアドレス(M100)をON するスイッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、 <br/>● をクリックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

参えイッチ/ランプ	X	(
<ul> <li>※ スイッチ/ランプ</li> <li>部品ID</li> <li>SL_0000 当</li> <li>コメント</li> <li>通常</li> <li>形状違択</li> <li>形状なし</li> </ul>	Zイッチ共通   ランブ機能   カラー   銘板   マ スイッチ機能 マルチファングションリスト ビットスイッチ ビットスイッチ ・ ビットアドレス ・ ビットアドレス ・ ビットアドレス ・ 「PIC1]200000 ・ ビット動作 ・ ビットモーメングリ ・ ・ ビットモーメングリ ・ ・ ・ ビットモーメングリ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	<u> 消防余</u> <u> 」 ピーして 追加</u> 」 」 上 一	
ヘルプ( <u>H</u> )	OK(Q) キャンセル	

4 [ビットアドレス]にタッチで操作したいビットアドレス(M100)を設定します。

アイコンをクリックすると、 アドレス入力用キーボードが 表示されます。	デバイス「M」を選択し、 アドレスに「100」を入力し て「Ent」キーを押します。	
ビットアドレス [PLC1]X00000 マロック	アドレス入力     図       接続機器     PLC1     ▼       M     100       Back     .       A     B       D     E       F     4       5     6       1     2       0     Ent	ビットアドレス [[PLC1]M000100 💽 📻

5 [ビット動作]で[ビットセット]を選択します。

ビット動作	
ビットセット	•

6 [スイッチ共通] タブで [ディレイ機能] にチェックを入れ、[ディレイ動作] で [ON ディレイ] を 選択します。[ディレイ時間] を 3 秒に設定します。

┌── ディレイ機能 ────		
ディレイ動作	ディレイ時間	
ONディレイ	▼ 3	🗄 🏢 sec

7 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をク リックします。



# 10.9 指を離した後、一定時間待ってから OFF したい

10.9.1 詳細



スイッチを押して指を離した後、一定の時間(例3秒)が経過してから指定ビットを OFF します。 「OFF」に変わるまでの待ち時間に再びタッチした場合、その指を離した時点から再度一定の時間 (例3秒)を待って指定ビットを OFF します。

### 10.9.2 設定手順

- ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
   「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」(10-46 ページ)
   第日の配置さばやスピース 形状 会 約5の記写さば詳細は「第日
  - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
     を参照してください。

<sup>②デ</sup>「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

指を離してから3秒後にビットアドレス(M100)をOFF するモーメンタリスイッチを作成します。



- [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、
   をクリックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

参えイッチ/ランプ	X
★ スイッチ/ランプ 部品ID SL_0000 ☆ コメント 通常 形状浅細根	スイッチ拱通 ランブ機能 カラー 銘板 マルチファンクションリスト ビットスイッチ ビットスイッチ ビットスイッチ ビットスイッチ ワードスイッチ 画面切替 特殊スイッチ セレクタスイッチ ビットアドレス ビットアドレス ビットアドレス ビットアドレス ジゴ からむビー ランブ からごビー デット動作
 「 形状なし へルブ( <u>H</u> )	道加     ご       前除     ご       二ピーして適加     「操作ログの取得       OK(Q)     キャンセル

4 [ ビットアドレス ] にタッチで操作したいビットアドレス ( M100 ) を設定します。



5 [ビット動作]に[ビットモーメンタリ]が選択されていることを確認します。

ビット動作	
ビットモーメンタリ	•

6 [スイッチ共通] タブで [ディレイ機能] にチェックを入れ、[ディレイ動作] で [OFF ディレイ] を 選択します。[ディレイ時間] を 3 秒に設定します。

▼ ブイレ11歳配	
ディレイ動作	ディレイ時間
10663404	📩 🔉 🖃 🚟 sec

7 必要に応じて[カラー]タブ、[銘板]タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK]をクリックします。



# 10.10 ON していいか、タッチする前に確認したい(2度押し)

### 10.10.1 詳細



スイッチを1回押すと点滅がはじまります。入力待ち状態の開始です。点滅中(入力待ち状態)に再度スイッチを押すと指定したビットが ON になります。誤った入力を防ぐのに適しています。 点滅中(入力待ち状態)に2回目のタッチを行わなければ ON になりません。

また、点滅中(入力待ち状態)に別のスイッチを押した場合も入力待ち状態が解除され、ON になりません。

10.10.2 設定手順

 MEMO

 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 「「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」(10-46 ページ)
 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」 を参照してください。

☞ 8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

タッチしてから 5 秒以内にもう一度同じスイッチをタッチすることでビットアドレス (M100)が ON するスイッチを作成します。



- [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、
   をクリックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

💣 スイッチ/ランプ 👘		×
部品ID SL 0000 三	スイッチ機能 スイッチ共通   ランブ機能   カラー   銘板	
31_0000] コメント 通常 形状なし	<ul> <li>マルチファングションリスト</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>ビットスイッチ</li> <li>・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</li></ul>	÷
	注意加        育師余        コピーして注意加	
ヘルプ( <u>H</u> )		

4 [ ビットアドレス ] にタッチで操作したいビットアドレス ( M100 ) を設定します。

アイコンをクリックすると、 デバイス「M」を選択し、 アドレス入力用キーボードが アドレスに「100」を入力し 表示されます。 て「Ent」キーを押します。 💣 アドレス入力 X ビットアドレス ビットアドレス 接続機器 PLC1 -[PLC1]M000100 [PLC1]X00000 Ŧ M ▼ 100 . Clr Back ABC 7 8 9 クリック 4 5 6 DEF 2 3 1 0 Ent ☑ 既定値として使用する

5 [ビット動作]で[ビットセット]を選択します。

ビット動作	
ビットセット	•

6 [スイッチ共通] タブで [ディレイ機能] にチェックを入れ、[ディレイ動作] で [2 度押し] を選択 します。[待ち受け時間] を 5 秒に設定します。

- ▼ ディレイ機能		
ディレイ動作	待ち受け時間	
2度押し	▼ 1 ~ 5 Ξ	sec
,		

7 [詳細]をクリックし、[ディレイ中状態表示を設定します]にチェックを入れます。

┌── ディレイ機能	
ディレイ動作	待ち受け時間
2度押し 💌	1 ~ 5 🗄 🇮 sec
▶ ディレイ中状態表示を設定	ರಿಕೆತ

8 [カラー]タブの[状態選択]で[ディレイ中]を選択します。[表示カラー]で入力待ち受け中のス イッチの色を設定し、[ブリンク]を[中速]に設定します。

│スイッチ機能│スイッチ共通│ ヲ	5ンプ機能 カラー  銘板
状態選択 ディレイ中	•
表示力ラー 6	ブリンク 中速

MEMO • スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。

9 必要に応じて [ 銘板 ] タブでディレイ中に表示させる銘板を設定し、[OK] をクリックします。

MEMO ・ スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[文字 列テーブル] 選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。

# 10.11 照光式スイッチを作りたい

### 10.11.1 詳細



スイッチにランプ機能を組み合わせると、指定したアドレスの状態(ON/OFF など)に応じてスイッチの色を切り替えられます。

### 10.11.2 設定手順

- - 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
     を参照してください。

☞ 8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

タッチでビットアドレス (M100) を操作するたびに、そのスイッチの色が切り替わる (OFF 時:緑、 ON 時:赤) スイッチを作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、 をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

<i>参</i> えイ <del>ッ</del> チ/ランプ	×
★ X + 9 ± / 5 ↓ 7 → 7 → 7 → 7 → 7 → 7 → 7 → 7 → 7 → 7	スイッチ拱通       ランフ機能       カラー       銘板         マルチファングションリスト       アルチファングションリスト       シードスイッチ       画面切替       特殊スイッチ       セレクタスイッチ         ビットスイッチ       フードスイッチ       画面切替       特殊スイッチ       セレクタスイッチ         ビットアドレス       ション詳細         「PLC1]200000       ション         ランブからコピー       ランブからコピー         ビットモーメンタリ       マ
	<u> 育師</u> <u> コピーして注意加</u>
ヘルプ(円)	OK((()) キャンセル

4 [ ビットアドレス ] にタッチで操作したいビットアドレス ( M100 ) を設定します。



5 [ビット動作]で[ビット反転]を選択します。

ビット動作	
ビット反転	•

6 [ランプ機能]タブで[ランプ機能]にチェックを入れ、[スイッチからコピー]をクリックします。 [ビットアドレス]に[スイッチ機能]タブで指定したアドレスと同じアドレスが設定されます。

スイッチ機能 スイッチ共通	ランプ機能 カラー   銘板	
▼ ランプ機能		
ビットアドレス		
[PLC1]M000100		
スイッチからコピー スイ	(ッチヘコピー	

7 [カラー]タブで、OFF 時のスイッチの色(緑)を設定します。

スイッチ機能	スイッチ共通	ランプ機能	カラー	銘板	1	
状態選択	OFF		• =			
表示カラー	2		<b>•</b> 7	リンク	無し	-

8 [ 状態選択 ] で [ON] を選択し、ON 時のスイッチの色(赤)を設定します。

ſ	スイッチ機能 )	スイッチ共通   ランプ機能	カラー	-	銘板		
	状態選択	ON	<b>.</b>	1			
	表示力ラー	4	•	)	リンク	無し	•

9 必要に応じて [ 銘板 ] タブで各状態のときに表示させる文字を設定し、[OK] をクリックします。

MEMO • スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[文字 列テーブル] 選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。

# 10.12 スイッチ1つでいろいろやりたい

### 10.12.1 詳細

1つのスイッチをタッチすれば、複数の操作を実行



1つのスイッチに最大16個までのスイッチ操作を登録できます。

登録順の最初に設定されたスイッチ操作の指定アドレスが有効になると、登録順にスイッチ操作が実 行されます。複数のスイッチ操作をご希望の順番で登録できます。画面切替操作のみ最後の順番で登 録すると動作します。画面の省スペース化に適しています。

### 10.12.2 設定手順

MEMO	•	設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。		
		└☞「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」( 10-46 ページ )		
	• 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の綱			
		を参照してください。		

☞ 8.6.1 部品の編集手順」(8-42ページ)

ワードアドレス(D102)ヘデータ「100」を書き込んで、ビットアドレス(M100)を OFF してから 前画面に戻るスイッチを作成します。

> 1 つのスイッチをタッチすれば、複数の操作を実行 ピッ ピッ 「フードアドレス D102 に データ「100」を書き込む ② ビットアドレス M100 を OFF ③ 画面を切り替える

- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ワードスイッチ (W)]を選択するか、 をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

🏄 スイッチ/ランプ 👘		×
部品ID SL 0000 😁	スイッチ機能 スイッチ共通   ランプ機能   カラー   銘板	
31_0000 <u>」</u> コメント 通常 形状選択	<ul> <li>マルチファンクションリスト</li> <li>ワードスイッチ</li> <li>ワードスイッチ</li> <li>ワードスイッチ</li> <li>ワードスイッチ</li> <li>ロードアドレス</li> <li>[PLC1]D00000</li> <li>アードがられ</li> <li>ワード物的作</li> <li>デーカ形ます</li> </ul>	
 一 形状なし	追加     アータ書込み     Dec        道加     「データ書込み     「     ご       道加     「     ご     ご       前形余     」     「        二ピーして追加     「     操作ログの取得	
ヘルプ( <u>H</u> )		

4 [ワードアドレス]にタッチでデータを書き込みたいアドレス(D102)を設定します。



### 5 [ワード動作]で[データ書込み]を選択します。

ワード動作	
データ書込み	•

6[定数]に「100」を入力し、ワードスイッチの機能は設定完了です。

データ形式	
Dec	•
ビット長	
16ビット	•
定数	
100	<u> </u>

7[追加]をクリックして[ビットスイッチ]を選択します。

ビットスイッチの設定画面に切り替わり、[マルチファンクションリスト]にビットスイッチが追加 表示されます。

追加         ビットスイッチ           前時         ワードスイッチ           面面切替スイッチ         画面切替スイッチ           当ピーして追加         特殊スイッチ	スイッチ機能 スイッチ共通 ラ マ スイッチ機能 マルチファンクションリスト マルチファンクションリスト	ンブ機能   カラー   銘板   
		ビットアドレス [PLC1]X00000

- 8 [ビットアドレス]に OFF したいビットアドレス (M100)を設定します。
- 9 [ビット動作]で[ビットリセット]を選択して、ビットスイッチの機能は設定完了です。

ビット動作	
ビットリセット	-
10 [追加]をクリックして [画面切替スイッチ]を選択します。

画面切替スイッチの設定画面に切り替わり、[マルチファンクションリスト]に画面切替スイッチが 追加表示されます。



- 11 [画面切替動作]で[前画面に戻る]を選択します。画面切替スイッチの機能は設定完了です。
- 12 必要に応じて [カラー] タブ、[銘板] タブでスイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK] をク リックします。

МЕМО	• スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。
	• スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[ 文字
	列テーブル]選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。

# 10.13 ラジオスイッチを作りたい

### 10.13.1 詳細



複数のスイッチを同じグループで登録しておくと、グループ内の1つのスイッチをタッチして指定 ビットを ON すれば、残りのスイッチはすべて OFF になります。

同じグループのスイッチであれば別のスイッチをタッチしても同様の動作になります。





#### 10.13.2 設定手順

MEMO	•	設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
		☞ 「10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド」( 10-46 ページ )
	•	部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は「部品(

部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
 を参照してください。

<sup>ເプラ</sup>「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

3 つのビットアドレス M100、M101、M102 を操作するスイッチをグループ化したラジオスイッチを 作成します。



- 1 [部品 (P)] メニューの [スイッチランプ (C)] から [ビットスイッチ (B)] を選択するか、 <sup>●</sup> をク リックし、画面に配置します。
- 2 配置したスイッチをダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

💣 スイッチ/ランプ	×
部品ID SL_0000 三 コメント	スイッチ機能     スイッチ機能     カラー     銘板       マノイッチ機能     スイッチ機能     マリーチアンクションリスト       ビアシクションリスト     ビアシクションリスト
道常 形状選択 「形状なし	ビットスイッチ Dードスイッチ 画面切替 特殊スイッチ セレクタスイッチ ビットアドレス シン詳細 「PLC1]X00000 マロ ランブからコピー ビットモーメンタリ マ
( <u>H</u> )	<u>追加</u>

3 [形状選択]でスイッチの形状を選択します。

4 [ビットアドレス]にタッチで操作したい1個目のビットアドレス(M100)を設定します。



5 [ビット動作]で[ビットセット]を選択します。

ビット動作	
ビットセット	•

6 [詳細]をクリックします。

ビットアドレス		<u>&lt;&lt;基本</u>
[PLC1]M000100 🔽 💼		
ランブからコピー ランブへコピー		
ビット動作	グループ機能	
ビットセット 💌	使用しない	•
	グループ番号	
	þ	
	自動OFF時間	
	1	<u> </u>

- 7 [グループ機能]で[グループ]を選択し、[グループ番号]を設定します。
- 8 必要に応じて [カラー] タブ、[銘板] タブで、スイッチの色や表示させる文字を設定し、[OK] をク リックします。1 個目のスイッチ (M100 を ON するスイッチ) が完成しました。

MEMO	• スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。
	• スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。[ 文字
	列テーブル]選択時には、表示する文字列テーブルが変更できます。

9 作成したスイッチを選択して右クリックし、[複数コピー(W)]を選択します。 [複数コピー]ダイアログボックスが表示されますので、[X方向]を「3」、[Y方向]を「1」に変更します。[自動アドレス加算]の[する]を選択し、コピー元のアドレス「M100」に加算幅「1」が設定されていることを確認して[OK]をクリックします。

↓ 切り取り(丁) Ctrl+X コピー(©) Ctrl+C 目おり付け(P) Gtrl+V ↑複数コピー(W)	•	<ul> <li></li></ul>
		自動アドレス加算 ● する ● しない ■ [PLC1]M000100 1 = 加算する

MEMO • 複数コピーの詳細は、「8.4.5 複数コピー」(8-27 ページ)を参照してください。

同じグループ番号の、連続する3つのビットアドレスを操作するラジオスイッチができあがります。



MEMO
 コピーせずに個別に作成した同じ画面上の3個のビットスイッチをグループ化する
 には、3個のスイッチの「グループ番号」を同じ番号に設定します。

- [複数コピー]ではなく、[コピー]と[貼り付け]によって同じスイッチを配置する こともできます。
- [複数コピー]では[自動アドレス加算]と加算幅の設定によってアドレスを自動的に加算したコピーを作成できますが、連続アドレスではないスイッチをグループ化する場合は、2個目・3個目のスイッチの[ビットアドレス]をそれぞれ変更する必要があります。

# 10.14 リストから機能が選択できるスイッチを作りたい

### 10.14.1 詳細



セレクタリスト部品に複数のスイッチ機能(最大 256 個)を登録し、スイッチ使用時にリスト表示用 のボタンをタッチしてスイッチ機能を選択できます。

セレクタリスト部品を使用することで、画面に配置するスイッチの数を減らすことができます。

**MEMO** • GP-3300 シリーズは Rev.4 以上の機種のみこの機能を使用できます。

#### 10.14.2 設定手順

- MEMO
   ・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
   「10.16 セレクタリスト部品の設定ガイド」(10-82 ページ)
   ・ 部品の配置方法やアドレス・形状・色・銘板の設定方法詳細は、「部品の編集手順」
  - ・ 部品の配置力法やデキレス・形状・ビ・超板の設定力法計画は、 部品の編集手順 を参照してください。

<sup>②デ</sup>「8.6.1 部品の編集手順」(8-42 ページ)

ビットアドレス (M100) をタッチで ON/OFF 反転させるビット操作、指定した画面番号に画面を切 り替える画面切替を登録したスイッチを作成します。



 MEMO
 ・ 登録の順番は処理には関係ありません。リストに表示される順番です。

 表示順は[セレクタファンクションリスト]で変更できます。

- 1 [部品 (P)] メニューの [セレクタリスト (E)] を選択するか、 📴 をクリックし、 画面に配置します。
- 2 配置したセレクタリスト部品をダブルクリックすると、設定ダイアログボックスが開きます。

\delta セレクタリスト					×
部品ID	セレクタリスト設定	スイッチ設定】			
	表示件数 1 当 <u>新</u> セレクタファンクションリスト ビット操作ビットセット	ビット操作 ビット操作 ビットアドレス	<b>シード操作</b>	画面切替	特殊操作
		ビット動作 「ビットセット			
	<u>追加</u>	項目名設定 © 直接文字列 機能1	C) 文字列	テーブル	一覧表示
ヘルプ( <u>H</u> )			[	0K( <u>0</u> )	キャンセル

3 ビット操作用のスイッチを作成します。

[ビットアドレス]にタッチで操作したいビットアドレス(M100)を設定します。



4 [ビット動作]で[ビット反転]を選択して、ビット操作の機能は設定完了です。

ビット動作	
ビット反転	•

5 [追加]をクリックして[画面切替]を選択します。 画面切替の設定画面に切り替わり、[セレクタファンクションリスト]に[画面切替]が追加表示され ます。

	١
コピーして追加 特殊操作 セレクタファンクションリスト	I
	J
画面切替動作	
画面切替	

MEMO
 セレクタファンクションリストで、機能を選択して右クリックし [既定とする (D)]
 を選択すると、その機能がリストの先頭に表示されるスイッチとして登録されます。
 リストの先頭に表示される機能は、タッチ操作でリストから選択する手順がいらないため頻繁に使われる機能は規定として設定しておくと便利です。

6 [画面切替動作]で[画面切替]を選択します。

画面切替動作	
画面切替	•
画面番号	
1	= #
□ 階層画面切替	

7 [画面番号]に表示させる画面の画面番号を入力します。画面切替の機能は設定完了です。

8 [セレクタファンクションリスト] に登録した機能を選択し、[項目名設定]の[直接文字列]をク リックしてリストに表示する項目名を入力します。

💰 セレクタリスト	×
部品ID	セレクタリスト設定 フォント設定 スイッチ設定
	表示件数 1 🔄 💽 💽 😪
	ЕуКРКИХ [PLC1]M000100 🔽 📷
	ビット動作 ビット反転
	<u>道加</u> <u>道加</u> 道服会 ・ 直接文字列 ・ 立注文字列 テーブル ・ 「 皆表示
<u>へルプ(H)</u>	OK@キャンセル

MEMO • [フォント設定]を開いて、入力した項目名のフォントタイプやサイズ、色の変更が できます。

9 [スイッチ設定] タブを開いて、[実行]、[上移動]、[下移動] にチェックを入れます。 必要に応じて[スイッチ選択]で各スイッチを選択してスイッチの色や表示させる文字列を設定し、 [OK] をクリックします。

💣 セレクタリスト	
部品ID [LP_0000 三 コメント ABC	セレクタリスト設定 フォント設定 スイッチ設定 スイッチ配置 マ 実行 マ 上移動 マ 下移動
形状選択	フォント設定 フォントタイプ 標準フォント  文字カラー  7 表示言語 日本語
	スイッチカラー 枠カラー  7  ブリンク 無し 表示カラー  7  パターン  パターン  7  スイッチカラー  7  ブリンク  7  、
ヘルプ(H)	

MEMO

スイッチの形状によっては、色を変更できないものがあります。
スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。

# 10.15 スイッチランプ部品の設定ガイド

<i>参</i> えイ <del>ッ</del> チ/ランプ		×
部品ID SL_0000 三 コメント 通常 形状選択 下形状なし	スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ スイッチ機能 マルチファンクションリスト ビットスイッチ	能       カラー 銘板         能       カラー 銘板         ビットスイッチ ワードスイッチ 画面切替 特殊スイッチ セレクタスイッチ         ビットアドレス         ビットアドレス         「PIC11200000 」         シブガからコピー         ジッナガからコピー         ビットモーメンタリ
	<u>25加</u> 肖印除 コピーして追加	「 操作ログの取得
ヘルプ( <u>H</u> )		OK((0) キャンセル

部品 ID       配置された部品には ID 番号が自動的に割り当てられます。 スイッチランブ部品の ID : SL_****(数字4桁) 英字部分は固定です。数字部分は 0000 ~ 9999 の範囲で変更できます。         コメント       部品に対するコメントを最大 20 文字まで設定できます。         「形状選択]で選択した部品の形状と状態が表示されます。 スイッチ機能にランブ機能を併せて設定した場合は、[カラー]タブや[銘板]タブの[状態選択]を切り替えると、選択したそれぞれの状態(ON 時/OFF 時など)が表示できます。         ジェイブブラウザが開き、部品の形状を選択します。         ジェイブブラウザが開き、部品の形状を選択します。         「調晶パレット」「「「」」」」」」」         ジェイブブラウザが開き、部品の形状を選択します。         「パレット」「「」」」」」」」         「調晶パレット」す例の「または[参照]をクリックすると、部品パレットを切り替えて表示できます。65536 色、256 色、64 色の部品があります。         ご使用の機種が対応している色数に合わせて、部品パレットを選択してください	設定項目	設定内容
コメント       部品に対するコメントを最大 20 文字まで設定できます。         状態表示       [形状選択]で選択した部品の形状と状態が表示されます。 スイッチ機能にランブ機能を併せて設定した場合は、[カラー]タブや[銘板]タ ブの[状態選択]を切り替えると、選択したそれぞれの状態(ON 時/OFF 時な ど)が表示できます。         ジェイプブラウザが開き、部品の形状を選択します。         ジェイプブラウザが開き、部品の形状を選択します。         「パッシ OFF         「「「「」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」」	部品 ID	配置された部品には ID 番号が自動的に割り当てられます。 スイッチランプ部品の ID:SL_****(数字4桁) 英字部分は固定です。数字部分は 0000 ~ 9999 の範囲で変更できます。
(形状選択)で選択した部品の形状と状態が表示されます。         スイッチ機能にランプ機能を併せて設定した場合は、[カラー]タブや[銘板]タブの[状態選択]を切り替えると、選択したそれぞれの状態(ON時/OFF時など)が表示できます。         シェイプブラウザが開き、部品の形状を選択します。         ジェイプブラウザが開き、部品の形状を選択します。         「パレット OFF 「」」」」         「認品パレット」右側の「または[参照]をクリックすると、部品パレットを切り替えて表示できます。65536 色、256 色、64 色の部品があります。         ご使用の機種が対応している色数に合わせて、部品パレットを選択してください	コメント	部品に対するコメントを最大 20 文字まで設定できます。
ジェイプブラウザが開き、部品の形状を選択します。            ドスパレット Standard Parts         ・         ・         ・	状態表示	[形状選択]で選択した部品の形状と状態が表示されます。 スイッチ機能にランプ機能を併せて設定した場合は、[カラー]タブや[銘板]タ ブの[状態選択]を切り替えると、選択したそれぞれの状態(ON時/OFF時な ど)が表示できます。
形状によっては、色を変更できないものがあります。	形状選択	シェイプブラウザが開き、部品の形状を選択します。          ジェイプブラウザ       ジェイブブラウザ         ジョイブブラウザ       ジョイブブラウザ         ジョイブブラウザ       ジョイブブラウザ         ジョイブブラウザ       ジョー         ジョー       ジョー

設定項目	設定内容
形状なし	形状のない透明な部品にするかどうかを指定します。 ランプ機能を使用しない場合のみ指定できます。
	スイッチ機能を使用するかどうかを指定します。
スイッチ機能	MEMO ・ ランプ機能のみを使用する場合は指定する必要はありません。
スイッチの種類	<ul> <li>ビットスイッチ 指定したビットを ON/OFF するスイッチです。 <sup>(金)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ」(10-48 ページ)</li> <li>ワードスイッチ 指定したワードアドレスにデータをセットするスイッチです。 <sup>(金)</sup>「10.15.2 ワードスイッチ」(10-62 ページ)</li> <li>画面切替 画面切替用スイッチです。 <sup>(金)</sup>「10.15.3 画面切替スイッチ」(10-65 ページ)</li> <li>特殊スイッチ GP をオフラインモードに切り替えるためのスイッチやウィンドウを表示する ためのスイッチなど、特殊な機能を持つスイッチです。 <sup>(金)</sup>「10.15.4 特殊スイッチ」(10-66 ページ)</li> <li>セレクタスイッチ タッチするごとに設定したビット(最大4ビットまで)を順に ON するスイッ チです。 <sup>(金)</sup>「10.15.5 セレクタスイッチ」(10-80 ページ)</li> </ul>
マルチファンクション リスト	設定したスイッチの種類を表示します。 1個のスイッチに複数の機能を設定する場合、設定した機能を上から順にリスト 表示します。処理はこのリストの上から順に行われます。
追加	1個のスイッチに複数の機能を設定する場合に、機能を追加します。 このボタンをクリックして追加したいスイッチを選択すると、[マルチファンク ションリスト]に機能が追加されます。
削除	1個のスイッチに複数の機能が設定されている場合に、[マルチファンクション リスト]で選択した機能を削除します。
コピーして追加	1個のスイッチに複数の機能を設定する場合に、[マルチファンクションリスト] で選択した機能をコピーして、最後尾に追加します。
↑ / ↓ (上移動 / 下移動)	[マルチファンクションリスト]で選択した機能を1つ上(または下)に移動さ せ、処理の順番を変更します。 [画面切替スイッチ]機能の順番は変更できません。
操作ログの取得	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。  MEMO   ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。  ・ [特殊スイッチ]は設定した動作により操作ログの取得ができない場合があり ます。 <sup>②</sup> 「10.15.4 特殊スイッチ」(10-66 ページ)

## 10.15.1 ビットスイッチ

スイッチ機能 / 基本



設定項目	設定内容
ビットアドレス	操作したいビットアドレスを指定します。
ビット動作	<ul> <li>ビットスイッチの動作を選択します。</li> <li>ビットセット スイッチを押すと[ビットアドレス]で指定したビットが ON になります。</li> <li>ビットリセット スイッチを押すと[ビットアドレス]で指定したビットが OFF になります。</li> <li>ビットモーメンタリ スイッチを離すと OFF になります。</li> <li>ビット反転 スイッチを離すと OFF になります。</li> <li>ビット反転 スイッチを押すごとに[ビットアドレス]で指定したビットの ON/OFF を切り 替えます。</li> <li>比較 スイッチを押すと指定ワードアドレスのデータと定数を比較します。</li> <li>その結果、条件が成立した場合に[ビットアドレス]で指定したビットが ON になります。</li> <li>「 比較」(10-49 ページ)</li> <li>MEMO</li> <li>ビットモーメンタリ動作では、システム設定[本体設定] - [操作設定]タブで 設定されている[タッチパネル検出]の設定にかかわらず、タッチ ON 時に有 効になります。</li> </ul>
ランプからコピー	[ランプ機能]タブの[ビットアドレス]を[スイッチ機能]タブの[ビットアドレス]にコピーします。ランプ機能とスイッチ機能で同じアドレスを設定する場合に使用します。
ランプヘコピー	[スイッチ機能]タブの[ビットアドレス]を[ランプ機能]タブの[ビットアド レス]ヘコピーします。ランプ機能とスイッチ機能で同じアドレスを設定する場 合に使用します。

比較

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ	機能│カラー│銘板 │
<ul> <li>マルチファンクションリスト</li> <li>ビットスイッチ</li> </ul>	ビットスイッチ       ワードスイッチ       画面切替       特殊スイッチ       セレクタスイッチ         ビットアドレス [PLC1]x00000       ビョンブハンビー       シンブハンビー
	ビット動作     データ形式       比較     Dec       比較用ワードアドレス     比較条件       [PLC1]D00000     []       D00000     1

設定項目	設定内容
比較用ワードアドレス	比較するワードアドレス(16 ビット長)を指定します。ここで指定したアドレス に格納されているデータと[定数]を比較し、条件が成立している場合に[ビッ トアドレス]を ON します。
比較条件	比較式の条件を、=,<,>,<>,<=,>= から選択します。
定数	比較する値を設定します。[データ形式]により設定範囲が異なります。 Dec:-32768 ~ 32767 BCD:0 ~ 9999 Hex:0 ~ FFFF
データ形式	定数のデータ形式を [Dec]、[BCD]、[Hex] から選択します。

スイッチ機能 / 詳細

ビット動作が[ビットセット]、[ビットモーメンタリ]、[ビット反転]の場合のみ、グループ機能が 使用できます。

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ	/機能 カラー 銘板	
マ スイッチ機能 マルチファンクションリスト ビットスイッチ	ビットスイッチ ワードスイッチ 画面         ビットアドレス         [[PLC1]200000         シップからコピー         ランプからコピー	
	ビット動作 「ビットモーメンタリ	グループ機能 (使用しない ▼ グループ番号 □ → ■ 自動OFF時間
追加		

設定項目	設定内容
グループ機能	<ul> <li>グループ機能を使用するかどうかを選択します。</li> <li>[ビット動作]が[ビットセット]、[ビットモーメンタリ]、[ビット反転]の場合のみ設定できます。</li> <li>使用しない グループ機能を使用しません。</li> <li>グループ</li> <li>複数スイッチを1つのグループとして扱い、グループ内の1つのスイッチを ON すると、その他のスイッチは OFF になります。[ビット動作]が[ビット セット]の場合のみ設定できます。</li> <li>自動 OFF 付きグループ</li> <li>複数スイッチを1つのグループとして扱い、グループ内の1つのスイッチを ON すると、その他のスイッチは OFF になります。グループ内の1つのスイッチを</li> <li>ON すると、その他のスイッチは OFF になります。グループ内の1つのスイッ チを ON してから[自動 OFF 時間]で設定した時間が経つと、自動的にそのス イッチは OFF されます。</li> </ul>
グループ番号	<ul> <li>[グループ機能]で[グループ]、[自動 OFF 付きグループ]を選択した場合に表示されます。同じ画面上にある、同じグループ番号のスイッチが1つのグループとして扱われます。</li> <li>1 画面上に設定できるグループ番号の設定範囲は次のとおりです。 グループ:0~255 自動 OFF 付きグループ:0~63</li> <li>エ要</li> <li>• [グループ]と[自動 OFF 付きグループ]では同じグループ番号であっても別々のグループとして扱われます。</li> </ul>
自動 OFF 時間	[グループ機能]で[自動 OFF 付きグループ]を選択している場合、自動 OFF を 行う時間を 0 ~ 60 秒で設定します。 自動 OFF 時間を「0」に設定すると、自動で OFF されないグループを設定できま す。

スイッチ共通 / 基本

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ機能 カラー   銘板	
□ インター□ック機能	<u>&gt;&gt;詳細</u>
■ アドレスを使用する	
インターロックアドレス タッチ有効条件	
[PLC1]X00000 🔽 🧰 💿 ビットON時有効 🔿 ビットOFF時有効	
🔽 セキュリティレベルを使用する レベル 🛛 📑 🏢	
ディレイ機能	
ディレイ動作 待ち受け時間	
2度押し I ~ 5 三 <u>第</u> sec	

設定項目	設定内容
インターロック機能	インターロック機能(条件が成立した場合のみタッチを有効にする機能)を使用 する場合、アドレスおよびセキュリティレベルを使用するかどうかを指定しま す。
	MEMO  ・インターロック中に可視アニメーション設定により可視 / 不可視が切り替わる と、タッチ操作は可視 / 不可視の状態にかかわらず有効ですが、スイッチ機能 は動作しなくなります。
アドレスを使用する	[インターロックアドレス]のビットが[タッチ有効条件]で指定した状態の場合のみタッチが有効になる機能です。インターロック機能を使用するかどうかを指定します。
インターロック アドレス	タッチの有効条件となるビットアドレスを指定します。このアドレスの状態によ リタッチが有効(無効)になります。
タッチ有効条件	<ul> <li>タッチを有効にする条件を選択します。</li> <li>ビット ON 時有効 指定した [インターロックアドレス]が ON のときだけタッチ操作が有効にな ります。</li> <li>ビット OFF 時有効 指定した [インターロックアドレス]が OFF のときだけタッチ操作が有効にな ります。</li> </ul>
セキュリティレベルを 使用する	スイッチ操作時のセキュリティレベルが、操作画面に設定したレベル以上のとき にタッチ操作が有効になります。 • レベル セキュリティレベルを1 ~ 15 の範囲で指定します。

設定項目	設定内容
ディレイ機能	ディレイ機能を使用するかどうかを指定します。タッチしてから機能が有効にな るまでの時間を設定できます。 MEMO ・システム設定の[本体設定] - [操作設定]タブで設定されている[タッチパネ 
	<ul> <li>・セレクタスイッチでは使用できません。</li> <li>・可視アニメーションを有効にしている場合、可視 / 不可視の切り替わりにより スイッチの状態は次のようになります。</li> <li>ON ディレイ: ディレイ状態は解除され、スイッチ機能は動作しません。</li> <li>OFF ディレイ: ディレイ状態は継続され、スイッチ機能は動作します。</li> <li>2 度押し: ディレイ状態は継続され、スイッチ機能は動作します。</li> </ul>
ディレイ動作	スイッチ機能が有効になる条件を [ON ディレイ]、[OFF ディレイ]、[2 度押し] から選択します。 • ON ディレイ スイッチを[ディレイ時間]で指定した時間押し続けることでスイッチ機能が 有効になります。 [ディレイ時間]になる前に指を離した場合は、スイッチは動作しません。 • OFF ディレイ スイッチから指を離した後 [ディレイ時間]で指定した時間が経つと OFF にな
	<ul> <li>リます。         <ul> <li>[ビット動作]が[ビットモーメンタリ]の場合のみ有効です。</li> <li>2度押し                 スイッチをタッチしてから[待ち受け時間]で指定した時間以内にもう一度                 タッチすると、スイッチ機能が有効になります。                 [待ち受け時間]を過ぎて2度目のタッチをしてもスイッチは有効になりませ                 ん。</li> </ul> </li> </ul>
ディレイ時間	[ディレイ動作]で[ON ディレイ]、[OFF ディレイ]を選択した場合に、ディレ イ動作を行う時間を設定します。設定範囲は1~30秒です。
待ち受け時間	[ディレイ動作]で[2度押し]を選択した場合に、1度目のタッチから何秒後ま でを2度目のタッチとして認識するかを設定します。入力範囲は2~30秒です。 MEMO  ・時間監視は1度目のタッチの指を離した時点から開始されます。  「ディレイ機能 ディレイ働作 待ち受け時間 2度押し ▼ 1~ 5

## スイッチ共通 / 詳細

タッチ時のブザー音の設定変更やタッチ中の反転表示など、スイッチ機能のオプション設定ができま す。

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ機能 カラー 総板	
──インターロック機能	<u>&lt;&lt;基本</u>
マ アドレスを使用する	
インターロックアドレスタッチ有効条件	
[PLC1]X00000 🗾 💼 💿 ビットON時有効 🔘 ビットOFF時有効	
▼ セキュリティレベルを使用する レベル 1 🗄 🇮	
□ インターロック中状態表示を設定します	
┌▼ ディレイ機能	
ディレイ動作 ディレイ時間	
ONディレイ 🔹 3 🗮 🗮 sec	
□ ディレイ中状態表示を設定します	
「オブション設定	
▶ 反転表示	
▶ ブザー音	
₩ AUX出力	

設定項目	設定内容
インターロック中状態 表示を設定します	インターロック機能を使用する場合、インターロック機能が動作中であることを 示す状態表示設定を行うかどうかを指定します。 ここを指定した場合、[カラー]タブ、[銘板]タブの[状態選択]で、[インター ロック中]が選択肢に追加され、インターロック中状態を示すスイッチの色、銘 板が設定できます。
ディレイ中状態表示を 設定します	ディレイ機能を使用する場合、ディレイ機能が動作中であることを示す状態表示 設定を行うかどうかを指定します。 ここを指定した場合、[カラー]タブ、[銘板]タブの[状態選択]で、[ディレイ 中]が選択肢に追加され、ディレイ中状態を示すスイッチの色、銘板が設定でき ます。
反転表示	スイッチをタッチしている間、スイッチの色を反転表示させるかどうかを指定します。 [ランプ機能]を設定した場合は指定できません。 MEMO ・反転表示色は変更できません。
ブザー音	スイッチをタッチしたときに音を鳴らすかどうかを指定します。 MEMO <ul> <li>ブザー音が鳴っているときに可視アニメーションによりスイッチが不可視状態になると、不可視に切り替わると同時にブザー音が止まります。</li> </ul>
ワンショット	モーメンタリスイッチを押している間鳴り続けるブザー音を、押した瞬間だけ鳴 るように設定できます。[ビット動作]で[ビットモーメンタリ]を選択している 場合のみ指定できます。
AUX 出力	スイッチをタッチしたときに音を鳴らすブザー音を、接続している外部接続機器 (スピーカなど)からも鳴らすかどうかを指定します。 AUX インターフェイスのない機種ではブザー出力できません。

# ランプ機能 / 基本

スイッチ機能 スイッチ共通ランプ機能カラー 銘板	
▼ ランプ機能	
ビットアドレス	<u>&gt;&gt;言羊糸田</u>
スイッチからコピー スイッチヘコピー	

設定項目	設定内容
ランプ機能	ランプ機能を使用するかどうかを指定します。 スイッチ機能と組み合わせて、指定したアドレスの状態によってカラー・銘板が 切り替わるスイッチが作成できます。
ビットアドレス	ランプの状態(点灯・消灯)を操作するビットアドレスを指定します。
スイッチからコピー	[スイッチ機能]タブの[ビットアドレス]を[ランプ機能]タブの[ビットアドレス]にコピーします。 ランプ機能とスイッチ機能で同じアドレスを設定する場合に使用します。
スイッチヘコピー	[ランプ機能]タブの[ビットアドレス]を[スイッチ機能]タブの[ビットアドレス]にコピーします。ランプ機能とスイッチ機能で同じアドレスを設定する場合に使用します。

# ランプ機能 / 詳細

犬態数	ビットアドレス1		<u> </u>
2 🗄 🏢	[PLC1]X00000	💌 🧰 スイッチからコピー	スイッチヘコピー
	ビットアドレス2		
		🔽 📾 スイッチからコピー	スイッチヘコピー
	ビットアドレス3		
		📃 🔤 スイッチからコピー	スイッチヘコピー
	ビットアドレス4		
		🔄 🔄 スイッチからコピー	スイッチヘコピー

設定項目	設定内容
アドレスタイプ	ランプの状態を操作するアドレスが [ ビットアドレス ] か [ ワードアドレス ] か を指定します。
ビットアドレス (1 ~ 4) / ワードアドレス	アドレスを設定します。ここで指定したアドレスのビット状態と[状態切替条件] によりランプ表示が切り替わります。
状態数	<ul> <li>切り替えたい表示状態の数を設定します。ビットアドレスかワードアドレスか、 また[状態切替条件]により設定範囲は異なります。</li> <li>ビットアドレス [各ビットで状態切替]の場合:3~5 [ビットの組み合わせで状態切替]の場合:2~16</li> <li>ワードアドレス [各ビットで状態切替]の場合:3~17 [データで状態切替]の場合:2~256</li> </ul>
状態切替条件	<ul> <li>【状態数】が「3」以上の場合のみ、状態の切り替えを判断する条件を選択します。</li> <li>各ビットで状態切替         <ul> <li>[ビットアドレス]でも[ワードアドレス]でも設定できます。どのビットがON しているかで状態を判断します。</li> <li>ビットの組み合わせで状態切替             <ul> <li>[ビットアドレス]選択時のみ設定できます。ビットアドレス1~4のうち、ON になっているビットの組み合わせで状態を判断します。</li> <li>データで状態切替                  [ワードアドレス]選択時のみ設定できます。ワードアドレスの下位8ビットに格納された値によって状態を判断します。</li> </ul> </li> <li>MEMO         <ul> <li>[各ビットで状態切替]を選択していて、複数ビットがON している場合は、ビットアドレスでは順番が早いほう、ワードアドレスでは一番若いビットで状態を判断します。</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>

小上台的	臣た
ᄮᄪ	

	[小+能]巽口 ]	ビッ	トアドレス	ワードアドレス	
	の選択肢	各ビットで 状態切替	ビットの組み合わせで 状態切替	各ビットで 状態切替	データで 状態切替
[状態数]が 1の時	通常	-	-	-	-
[状態数]が	OFF	-	-	-	-
2の時	ON	-	-	-	-
	状態 0	すべて OFF	すべて OFF	すべて OFF	データ 0
	状態 1	ビット1がON	ビット1がON	00 ビットが ON	データ1
	状態 2	ビット2がON	ビット2がON	01 ビットが ON	データ2
	状態 3	ビット3がON	ビット 1, 2 が ON	02 ビットが ON	データ 3
	状態 4	ビット4がON	ビット 3 が ON	03 ビットが ON	データ4
	状態 5	-	ビット 1,3 が ON	04 ビットが ON	データ 5
	状態 6	-	ビット 2, 3 が ON	05 ビットが ON	データ 6
	状態 7	-	ビット 1, 2, 3 が ON	06 ビットが ON	データ 7
	状態 8	-	ビット4がON	07 ビットが ON	データ 8
[状態数]が	状態 9	-	ビット 1,4 が ON	08 ビットが ON	データ9
3以上の時	状態 10	-	ビット 2, 4 が ON	09 ビットが ON	データ 10
	状態 11	-	ビット 1, 2, 4 が ON	10 ビットが ON	データ 11
	状態 12	-	ビット 3,4 が ON	11 ビットが ON	データ 12
	状態 13	-	ビット 1, 3, 4 が ON	12 ビットが ON	データ 13
	状態 14	-	ビット 2, 3, 4 が ON	13 ビットが ON	データ 14
	状態 15	-	すべて ON	14 ビットが ON	データ 15
	状態 16	-	-	15 ビットが ON	データ 16
	状態 17	-	-	-	データ 17
	•	-	-	-	:
	状態 255	-	-	-	データ 255
インター	インター				
ロック	ロック中				
ディレイ	ディレイ中		-		

MEMO • 各ビットが、設定した [ 状態選択 ] 以外の状態になる場合、ランプは正常に表示されません。

例えば、[状態数]が3で、[ビットの組み合わせで状態切替]を設定している場合、[状態 0] ~ [状態 2]までの3パターンの設定ができますが、ビット1、2をONしていると 設定外の[状態 3]に該当するため、ランプの状態は前の状態のままです。 カラー

スイッチ機能	スイッチ共通 ランプ機能 カラー お板
状態選択	OFF 🗾
表示カラー	11120 東し 👤
パターン	パターン無 -
松力ラー	
17757	

設定項目	設定内容
状態選択	スイッチの状態を選択します。 ランプ機能を使用しない場合は[通常]のみです。 ランプ機能を使用する場合、スイッチの色を状態に対して設定します。
	MEMO ・ インターロック中、ディレイ中のカラーを設定したい場合は、[スイッチ共通] タブの[詳細]をクリックし[インターロック中状態表示を設定します]、
	[ディレイ中状態表示を設定します]を指定することで[状態選択]の選択肢に 追加されます。
表示カラー	スイッチの色を選択します。
パターン	スイッチの柄(パターン)を9種類から選択します。
パターンカラー	パターン(柄)の色を選択します。 スイッチの色は[表示カラー]と[パターンカラー]の組み合わせで表示されま す。
枠カラー	スイッチの枠の色を設定します。
プリンク	点滅表示の有無および点滅の速さを設定します。[表示カラー]、[パターンカ ラー]、[枠カラー]それぞれ設定できます。
	MEMO  • 本体機種とシステム設定の[色数設定]によりブリンクを設定できない場合が あります。
	☞「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)

MEMO

• スイッチの形状によっては、[表示カラー]、[パターン]、[枠カラー]などが設定 できないものがあります。

### 銘板

スイッチランプ部品上に刻印する文字を設定します。部品の状態に合わせて表示文字を変えられます。

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ機能 カラー 銘板	
<ul> <li>● 直接文字列 ○ 文字列テーブル</li> </ul>	
状態選択 OFF ▼ ÷	
フォント設定	
フォントタイプ 標準フォント 💌 サイズ 🛛 🛛 💌	
表示言語 日本語 💌	
文字飾り 標準 💌	
文字力ラー	ブリンク
7	▼ 無し ▼
影力ラー	ブリンク
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	フリンク
全銘板ヘコピー 全銘板クリア 「250円	

設定項目	設定内容
文字タイプ	<ul> <li>銘板の文字タイプを選択します。</li> <li></li></ul>
状態選択	スイッチの状態を選択します。 ランプ機能を使用しない場合は[通常]のみです。 ランプ機能を使用する場合、銘板を状態に対して設定します。 MEMO ・インターロック中、ディレイ中の銘板を設定したい場合は、[スイッチ共通] タブの詳細設定で[インターロック中状態表示を設定する]、[ディレイ中状態 表示を設定する]を指定することで[状態選択]の選択肢に追加されます。
フォント設定 フォントタイプ	<ul> <li>[標準フォント]、[ストロークフォント]、[イメージフォント]から選択します。</li> <li>・標準フォント ビットマップフォントで、文字の縦・横の比率を倍率指定できます。文字を拡 大/縮小すると輪郭が粗くなったりつぶれる場合があります。</li> <li>・ストロークフォント 文字の縦・横の比率が固定されているアウトラインフォント(線の組み合わせ で定義されたフォント)です。文字を拡大/縮小しても綺麗な輪郭で表示でき ますが、容量が大きいため GP の負担になる場合があります。</li> <li>・イメージフォント Windows フォントをイメージデータとして表示します。そのためテキストデー タとして再編集はできません。文字タイプが[直接文字列]の場合のみ設定で きます。</li> </ul>

設定項目		設定内容				
	フォントタイプ	<ul> <li>MEMO</li> <li>イメージフォントはプロジェクトファイルの容量を大きくさせる要因になります。イメージフォントを使用した文字列の容量は1つの文字列あたり最大 50 バイトです。</li> <li>イメージフォントを選択した場合、縦書き文字列は設定できません。</li> </ul>				
フォント設定	サイズ	<ul> <li>文字サイズを設定します。フォントタイプにより設定範囲が異なります。</li> <li>サイズ         標準フォント: [8 × 8] ~ [64 × 128] まで、横×縦を 8 ドット単位で指定する         か、[6 × 10]、[8 × 13]、[13 × 23]の固定サイズで指定しま         す。固定サイズは半角英数字のみ表示できます。         ストロークフォント:6~127         [文字サイズ自動調整]にチェックを入れた場合は、[最         大サイズ]と[最小サイズ]の設定ができます。</li> <li>固定サイズ         [標準フォント]選択時のみ選択可能で、「6 × 10 ドット」「8 × 13 ドット」         「13 × 23 ドット」から指定します。半角英数字のみ表示できます。         「6 × 10 ドット」を選択した場合、[文字飾り]の[太字]は選択できません。</li> </ul>				
	表示言語	銘板の表示言語を、[日本語]、[欧米]、[中国語(簡体字)]、[中国語(繁体 字)]、[韓国語]、[キリル文字]、[タイ語]から選択します。 [フォントタイプ]で、[標準フォント]または[ストロークフォント]を選択し た場合のみ設定できます。 MEMO • [文字列テーブル]を選択している場合は設定できません。				
	文字飾り	[フォントタイプ]で、[標準フォント]または[ストロークフォント]を選択し た場合のみ、それぞれ以下の文字飾りを選択できます。 標準フォント:[標準]、[太字]、[影付き] (固定サイズの[6 × 10]を選択した場合は[標準]、[影付き]から選択) ストロークフォント:[標準]、[太字]、[中抜き]				

設定項目		設定内容		
フォント設定	フォント選択	[フォントタイプ]で[イメージフォント]を選択した場合に表示されます。         [フォント]ダイアログボックスが表示され、フォントやスタイル、サイズを選択します。         フォント設定         フォント約イプ [イメージフォント]・マオント選択 Microsoft Sans*** ア         クリック         マオント設定         フォントタイプ [イメージフォント]・マオント選択 Microsoft Sans*** ア         クリック         マオント設定         フォントタイプ [イメージフォント]・マオント選択 Microsoft Sans*** ア         クリック         マオント マント ア         アント         アント     <		
	文字列入力枠	[直接文字列]を選択している場合に文字列を入力します。文字数は 400 文字 (横 100 文字、縦 4 行)まで入力できます。		
全銘版へコピー		[文字列入力枠]に入力した文字とフォントを、[状態選択]で選択できるすべての状態にコピーします。 MEMO ・ ランプ機能を設定していない場合は使用できません		
全銘版クリア		すべての状態の [文字列入力枠]の内容をクリアします。フォントタイプやカ ラーなど、文字列以外の [銘板]タブ内の設定内容は変更されません。 MEMO ・ランプ機能を設定していない場合は使用できません。		
文字	カラー	文字列の表示色を設定します。		
背景	カラー	文字の背景色を設定します。		
影カラー		[フォントタイプ]が[標準フォント]で、[文字飾り]が[影付き]を設定してい る場合に、文字の影の色を設定します。		
ブリンク		点滅表示の有無および点滅の速さ指定します。[文字カラー]、[背景カラー]そ れぞれにプリンクの設定が可能です。 ▲ MEMO • 本体機種とシステム設定の[色数設定]によりプリンクを設定できない場合が あります。 <sup>②</sup> 「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)		
位置固定		銘板を部品中央に固定するかどうかを設定します。		

設定項目	設定内容
追従	部品配置後、銘板のサイズや位置を変更したい場合に、1つの状態を変更すると、 設定されている他の状態の銘板サイズや位置も同様に変更されます。 状態ごとに銘板の位置や大きさを別々に設定したい場合は設定しないでください。 MEMO  ・[位置固定]を設定している場合は指定できません。 ・[文字列テーブル]を選択している場合は設定できません。
行間隔	行間隔を 0 ~ 255 で指定します。 [フォントタイプ]で[イメージフォント]を設定している場合は設定できませ ん。
整列	文字の整列方法を [ 左揃え ]、[ 右揃え ]、[ 中央揃え ] から選択します。 [ フォントタイプ ] が [ イメージフォント ] の場合は、[ 両端揃え ] も設定できま す。

10.15.2 ワードスイッチ

スイッチ機能

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ	機能   カラー   銘板
✓ スイッチ機能 マルチファンクションリスト ワードスイッチ	ビットスイッチ ワードスイッチ     ロードスイッチ     ロードスイッチ
	ワードアドレス [PLC1]D00000 🗨 💼
	ランブからコピー ランブへコピー
	ワード動作 データ形式
	「J ータ香心の 」 Dec 」 ドット長
	16ビット
	定数
追加	

設定項目	設定内容			
ワードアドレス	データを格納したいワードアドレスを指定します。			
ワード動作	<ul> <li>ワードスイッチの動作</li> <li>データ書き込み スイッチを押すとします。</li> <li>データ加算/データ スイッチを押すと加減算)し、その結果</li> <li>デー データ加算</li> <li>桁加算/桁減算 スイッチを押すたてし、[ワードアドレ デー 桁加算/減</li> <li>演算 演算元となるワート 排他的論理和)し、</li> <li>デ 演算」(10)</li> </ul>	乍を選択します。 「ワードアドレン 7減算 □算元となるワー ≹を [ ワードア ] 【/減算」(10-63 ズー、指定したね ス ] に書き込み 算」(10-63 ペー デアドレスのデ その結果を [ ] -64 ページ)	<ul> <li>ス]で指定したアドレスにデータを書</li> <li>ドアドレスのデータに定数を加算 ドレス]に書き込みます。</li> <li>ページ)</li> <li>行位置のデータに1ずつ加算(また目ます。桁上がりや桁下がりは行います。</li> <li>ジ)</li> <li>タと設定した定数を演算(論理積)</li> <li>アドレス]に書き込みます。</li> </ul>	
データ形式	定数のデータ形式を [Dec]、[BCD]、[Hex] から選択します。			
ビット長	定数のビット長を [16 ビット ]、[32 ビット ] から選択します。			
	指定した[ワードアドレス]に書き込みたい値を設定します。 [データ形式]により設定範囲が異なります。			
	ビット長	データ形式	定数	
		Dec	-32768 ~ 32767	
定数	16 ビット	BCD	0 ~ 9999	
		Hex	$0 \sim FFFF$	
		Dec	-2147483648 ~ 2147483647	
	32 ビット	BCD	0 ~ 99999999	
		Hex	$0 \sim FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF$	

データ加算 / 減算

ワード動作			データ形式	
データ加算	-		Bin	-
加算元ワードアドレス			定数	
[PLC1]D00000	-	+	1	= #
			□ 連続加算機能	

設定項目	設定内容				
加算元ワードアドレス (減算元ワードアドレ ス )	ここで指定したアドレスのデータに、指定した[定数]を加算(または減算)した結果を[ワードアドレス]に書き込みます。				
データ形式	定数のデ	ータ形式を[	Bin]、[BCD] か	ら選択します。	
	加算(または減算)したい値を設定します。[データ形式]により設定範囲が異 なります。				
		ワード動作 データ形式		定数	
定数		加笞	Bin	0 ~ 32767	
		川昇	BCD	0 ~ 9999	
		減算	Bin	0 ~ 32768	
			BCD	0 ~ 9999	
	スイッチを押している間、加算(または減算)を繰り返す機能を使用するかどう かを指定します。				
連続加算機能 (連続減算機能)	MEMO ・ 連続加 ・ システ [OFF 椅	算機能を設定 ム設定の[本 (出]に設定[	Eしている場合、 「体設定」 - [操 している場合は	ディレイ機能は使用できません。 作設定]タブで、[タッチパネル検出]を 動作しません。	

桁加算 / 減算

ワード動作		桁位置	
桁加算	-	1	= #
		データ形式	
		Bin	•
		🗌 連続加算機能	

設定項目	設定内容
桁位置	加算(または減算)したい桁位置を1~4で設定します。
データ形式	データ形式を [Bin]、[BCD] から選択します。
	スイッチを押している間、桁加算(または桁減算)を繰り返す機能を使用するか どうかを指定します。
連続加算機能 (連続減算機能)	MEMO ・ 連続加算機能を設定している場合、ディレイ機能は使用できません。 ・ システム設定の [本体設定] - [操作設定]タブで、[タッチパネル検出]を [OFF 検出]に設定している場合は動作しません。

演算

ワード動作   演算	<b>_</b>
演算元ワードアドレス	演算子 定数
[PLC1]D00000	💌 🧰 AND 💌 🏾 🖃 🏢
	(Hex)

設定項目	設定内容		
演算元ワードアドレス	演算するために参照したいワードアドレスを指定します。ここで指定したアドレ スに格納されているデータに定数を演算した結果を、[ワードアドレス]に書き 込みます。		
演算子	演算子を[AND]、[OR]、[XOR]から選択します。         • AND (論理積)         2つのビットのうちどちらかが「0」のとき「0」、どちらも「1」のときは「1」となります。         • OR (論理和)         2つのビットのうちどちらかが「1」のとき「1」、どちらも「0」のときは「0」となります。         • XOR (排他的論理和)         2つのビットが同じ値のとき「0」異なる値のとき「1」となります。         例)演算元ワードアドレスの値が「5」、定数の値が「3」の場合         AND       OR         演算症ワードアドレス       0101         定数       0011         演算結果(ワードアドレス)       0001         1       0111         7       0100		
定数	演算する値を指定します。設定範囲は0~ FFFF です。		

### スイッチ共通 / ランプ機能 / カラー / 銘板

スイッチの種類にかかわらず共通で設定します。 <sup>(2)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ スイッチ共通 / 基本」(10-51 ページ) <sup>(2)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ ランプ機能 / 基本」(10-54 ページ) <sup>(2)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ カラー」(10-57 ページ) <sup>(2)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ 銘板」(10-58 ページ)

#### 10.15.3 画面切替スイッチ

ベース画面切り替え用スイッチを作成します。

### スイッチ機能

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ	7機能   カラー   銘板
✓ スイッチ機能 マルチファンクションリスト 画面切替スイッチ	<ul> <li>ビットスイッチ</li> <li>ワードスイッチ</li> <li>画面切替</li> <li>特殊スイッチ</li> <li>セレクタスイッチ</li> </ul>
	■面切替動作 ■面切替 ▼
	画面番号 1 - 9999)
	□ 階層画面切替

設定項目	設定内容
画面切替動作	<ul> <li>画面切替の動作を選択します。</li> <li>画面切替 スイッチを押すと、表示中の画面から指定した画面へ表示を切り替えます。</li> <li>前画面に戻る スイッチを押すと、表示中の画面からその前に表示していた画面に戻ります。 画面が階層構造になっている場合は、1つ上の階層画面(親画面)に戻ります。</li> <li>MEMO</li> <li>[本体設定] - [表示設定] - [画面設定]で[接続機器への反映]を有効にした場合、[前画面に戻る]を設定した画面切替スイッチは正しく動作しない場合があります。</li> </ul>
画面番号	表示させたい画面の番号を1~ 9999 で指定します。[画面切替動作]で[画面切 替]を選択した場合のみ指定できます。
階層画面切替	画面切り替えに階層構造を持たせることができます。[画面切替動作]で[画面切替]を選択した場合のみ指定できます。32階層まで設定できます。

### スイッチ共通 / ランプ機能 / カラー / 銘板

スイッチの種類にかかわらず共通で設定します。 <sup>(G)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ スイッチ共通/基本」(10-51 ページ) <sup>(G)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ ランプ機能/基本」(10-54 ページ) <sup>(G)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ カラー」(10-57 ページ) <sup>(G)</sup>「10.15.1 ビットスイッチ 銘板」(10-58 ページ)

### 10.15.4 特殊スイッチ

特殊な機能を持ったスイッチを作成します。

### スイッチ機能

設定項目	設定内容	
設定項目	設定内容 特殊スイッチの動作を選択します。 <ul> <li>ウィンドウ表示スイッチ</li> <li>ウィンドウをスイッチで起動する場合に設定するウィンドウ部品に付属するスイッチと同じです。スイッチを押すと指定したウィンドウを表示し、もう一度押すとウィンドウを閉じます。</li> <li>アラーム履歴用スイッチ</li> <li>アラーム服歴用スイッチ</li> <li>アラーム部品に付属するスイッチと同じです。表示されたアラーム履歴を操作(確認・移動・クリアなど)するスイッチを作成します。</li> <li>アラーム履歴用スイッチ」(10-69ページ)</li> <li>テキストアラーム用スイッチ」(10-69ページ)</li> <li>テキストアラーム部品に付属するスイッチと同じです。表示されたテキストアラームのスクロールやサブ画面を表示するスイッチを作成します。</li> <li>ア テキストアラーム用スイッチ」(10-70ページ)</li> <li>ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ</li> <li>ヒストリカルトレンドグラフ部品に付属するスイッチと同じです。過去データを表示したりスクロールするスイッチを作成します。</li> <li>ア レストリカルトレンドグラフ用スイッチ</li> <li>サンプリングデータ表示用スイッチ</li> <li>サンプリングデータ表示用スイッチ」(10-70ページ)</li> <li>セレクタリスト用スイッチ</li> <li>セレクタリスト用スイッチ</li> </ul>	
	<ul> <li>ビレウタリスト部品に付属するスイッチと同じです。表示されたリストのスケ ロールや選択した機能を実行するスイッチを作成します。</li> <li>・ セレクタリスト用スイッチ」(10-71 ページ)</li> <li>・ 操作ロック GP-Viewer やイーサネットで複数の GP を 1 台の PLC に接続した場合、1 台の GP/GP-Viewer が操作を開始すると他の GP/GP-Viewer で操作ができなくなりま す。操作禁止の解除にも使用します。</li> <li>・ 操作ロック」(10-72 ページ)</li> <li>・ セキュリティ 接続機器との通信中にパスワードを変更するためのスイッチを作成します。</li> </ul>	

設定項目	設定内容
特殊動作	<ul> <li>ファイル項目用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器 [ファイリング]に付属するスイッチと同じです。ファイリングデータの転送やファイリング表示器のスクロールを行うスイッチなどを作成します。</li> <li>マアイレ項目用スイッチ、(10-73 ページ)</li> </ul>
	<ul> <li>ファイルマネージャ表示用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器 [ファイルマネージャ]に付属するスイッチと同じです。</li> <li>ファイルマネージャを画面に表示させるスイッチを作成します。</li> <li>データ転送用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器 [データ転送]に付属するスイッチと同じです。</li> <li>CSV データの転送やデータ転送表示器のスクロールを行うスイッチなどを作成します。</li> </ul>
	<ul> <li>「データ転送用スイッチ」(10-74ページ)</li> <li>CSV 表示器用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器 [CSV 表示] に付属するスイッチと同じです。</li> <li>CSV 表示器のスクロールや CSV データの印刷を行うスイッチを作成します。</li> </ul>
	<ul> <li>CSV 表示器用スイッチ」(10-74 ページ)</li> <li>動画表示器用スイッチ 動画表示器に付属するスイッチと同じです。動画再生時の画面操作用スイッチ を作成します。</li> <li>(3) 動画表示器用スイッチ」(10-75 ページ)</li> </ul>
	・モニタ起動スイッチ デバイスモニタやラダーモニタを画面に表示させるスイッチを作成します。
	<ul> <li>モニタ起動スイッチ」(10-77 ペーシ)</li> <li>アプリケーション起動 WinGPを使用する場合に、アプリケーションの実行ファイルを直接指定して起 動するスイッチを作成します。起動時のパラメータや多重起動の監視などが設 定できます。</li> <li>アプリケーション起動」(10-78 ページ)</li> </ul>
	<ul> <li>WinGP の終了</li> <li>WinGP を終了するスイッチを作成します。</li> <li></li></ul>
	<ul> <li>リセット</li> <li>表示器のリセットが行われるスイッチを作成します。</li> </ul>
	<ul> <li>オフライン</li> <li>表示器がオフラインモード(接続機器との通信を行っていない状態)へ移行する</li> <li>スイッチを作成します。</li> </ul>
	MEMO ・ [リセット]と[オフライン]はマルチファンクション化(1個のスイッチで複数の操作をさせること)はできません。

設定項目	設定内容
特殊動作	<ul> <li>RPA ウィンドウ表示スイッチ RPA ウィンドウ表示器に付属するスイッチと同じです。RPA ウィンドウを画面 に表示させます。</li> <li><sup>GPT</sup>「36.3 GP 上でパソコンの画面を表示 / 操作したい」(36-4 ページ)</li> </ul>
	<ul> <li>接続機器データ転送</li> <li>接続機器に(株)安川電機の MP シリーズイーサネット(拡張)を選択した場合、GP から接続機器への MP プログラム転送画面に移行するためのスイッチを作成します。</li> </ul>
	<ul> <li>MEMO</li> <li>MP プログラム転送機能を有効にするには、[システム設定]ウィンドウの[接 続機器設定]で[拡張機能] - [プログラム転送機能を使用する]にチェックを 入れる必要があります。</li> <li>転送設定の詳細についてはドライバの機器接続マニュアルを参照してください。</li> </ul>
ウィンドウ部品 ID	タッチで表示させるウィンドウ部品の ID を設定します。0 ~ 383 まで設定できます。

アラーム履歴用スイッチ

特殊動作		
アラーム履歴用スイッチ		•
動作		
開始	-	
🔲 フリーズモード		

設定項目	設定内容	
動作	アラーム履歴を操作するスイッチの動作を [ 開始 ]、 [ 終了 ]、 [ 確認 ]、 [ 移動 ]、 [ クリア ]、 [ ソート ]、 [ スクロール ]、 [ サブ表示 ]、 [ アラーム No. 取得キー ] か ら選択します。	
フリーズモード	[動作]で[開始]を選択した場合のみ、フリーズモード(アラーム履歴の表示を 現在の状態でストップし、更新を行わないモード)を使用するかどうかを指定し ます。	
詳細動作	<ul> <li>[動作]で[確認]、[移動]、[クリア]、[ソート]を選択した場合に、動作の詳細を選択します。</li> <li>確認 [確認]、[全確認]から選択します。</li> <li>移動 [上移動]、[下移動]、[ロールアップ]、[ロールダウン]から選択します。</li> <li></li></ul>	
AT 1944 22/2   F	<ul> <li>・ ソリア [クリア]、[全クリア]、[復旧アラームクリア]、[確認アラームクリア]、[全 復旧アラームクリア]、[全確認アラームクリア]、[発生回数全てクリア]、 [発生回数個別クリア]、[累積時間全てクリア]、[累積時間個別クリア]から 選択します。</li> <li>・ ソート [発生日時順ソート]、[発生回数順ソート]、[累積時間順ソート]、[アラーム 登録順ソート]、[レベル&amp;日時順ソート]、[レベル&amp;発生回数順ソート]、 [ソート逆順]から選択します。</li> <li>・ スクロール [右スクロール]、[左スクロール]から選択します。</li> </ul>	
連続移動機能	[詳細動作]で[上移動]、[下移動]を選択した場合に、タッチしている間移動を 続ける機能を使用するかどうかを指定します。 アラーム部品にはこの機能はありません。	
ロールアップ / ロール ダウン数	[詳細動作]で[ロールアップ]、[ロールダウン]を選択した場合に、1回のタッ チでロールアップ/ロールダウンする数を設定します。設定範囲は1~768です。	
連続アップダウン機能	[詳細動作]で[ロールアップ]、[ロールダウン]を選択した場合に、タッチして いる間ロールアップ(またはロールダウン)を続ける機能を使用するかどうかを 指定します。 アラーム部品にはこの機能はありません。	
操作ログの取得	[動作]で[確認]、[クリア]を選択した場合に、操作ログの取得を行うかどうか を指定します。 MEMO ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。	

テキストアラーム用スイッチ

特殊動作	
テキストアラーム用スイッチ	<b>•</b>
動作	
上移動	▼ 連続移動機能

設定項目	設定内容
動作	テキストアラーム部品を操作するスイッチの動作を [ 上移動 ]、[ 下移動 ]、[ ロー ルアップ ]、[ ロールダウン ]、[ サブ表示 ]、[ 終了 ] から選択します。
連続移動機能	[動作]で[上移動]、[下移動]を選択した場合に、タッチしている間移動を続け る機能を使用するかどうかを指定します。 テキストアラーム部品にはこの機能はありません。
ロールアップ / ロール ダウン数	[動作]で[ロールアップ]、[ロールダウン]を選択した場合に、1回のタッチで ロールアップ/ロールダウンする数を設定します。設定範囲は1~512です。
連続アップダウン機能	[動作]で[ロールアップ]、[ロールダウン]を選択した場合に、タッチしている 間ロールアップ(またはロールダウン)を続ける機能を使用するかどうかを指定 します。 テキストアラーム部品にはこの機能はありません。

ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ

特殊動作	
ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ	-
動作	
過去データ表示スイッチ 💌	

設定項目	設定内容
動作	ヒストリカルトレンドグラフの過去データ表示を操作するスイッチの動作を [過 去データ表示スイッチ]、[古いデータへスクロール]、[新しいデータへスク ロール]、[拡大表示]、[縮小表示]から選択します。
スクロール数	[動作]で[古いデータへスクロール]、[新しいデータへスクロール]を選択した 場合に、1回のタッチでスクロールさせる数を設定します。設定範囲は1~ 65535です。
連続スクロール機能	[動作]で[古いデータへスクロール]、[新しいデータへスクロール]を選択した 場合に、タッチしている間スクロールを続ける機能を使用するかどうかを指定し ます。 ヒストリカルトレンドグラフ部品にはこの機能はありません。
過去データ表示でのみ 使用する	[動作]で[拡大表示]、[縮小表示]を選択した場合に、過去データ表示時のみ使用するかどうかを設定します。
ヒストリカルトレンド グラフ部品 ID	[動作]で[拡大表示]、[縮小表示]を選択した場合に、表示状態を反映するヒストリカルトレンドグラフ部品の ID を設定します。

サンプリングデータ表示用スイッチ

特殊動作	
サンプリングデータ表示用スイッチ	- <b>-</b>
動作	スクロール数
上スクロール	
	▶ 連続スクロール機能

設定項目	設定内容
動作	サンプリングデータ表示器を操作するスイッチの動作を [ 上スクロール ]、 [ 下ス クロール ]、 [ 左スクロール ]、 [ 右スクロール ] から選択します。
スクロール数	1回のタッチでスクロールさせる数を設定します。設定範囲は [ 上スクロール ]、 [ 下スクロール ] の場合は 1 ~ 65535、[ 左スクロール ]、 [ 右スクロール ] の場合 は 1 ~ 514 です。
連続スクロール機能	タッチしている間スクロールを続ける機能を使用するかどうかを指定します。 サンプリング表示器にはこの機能はありません。

セレクタリスト用スイッチ

特殊動作	
セレクタリスト用スイッチ	-
動作	
実行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
セレクタリスト部品ID	
0 🗄 🔳	

設定項目	設定内容
動作	セレクタリストを操作するスイッチの動作を[実行]、[上移動]、[下移動]から 選択します。
操作ログの取得	<ul> <li>[動作]で[実行]を選択した場合に、操作ログの取得を行うかどうかを指定します。</li> <li>MEMO</li> <li>・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れていない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセージが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ設定を有効にしてください。</li> </ul>
セレクタリスト部品 ID	スイッチを配置するセレクタリスト部品の ID を設定します。
・ 可視アニメーションの設定により、 セレクタリスト表示中にスイッチが不可視に切	
	)替わるとリストが閉じられます。可視に切り替わってもリストは閉じたままです。

操作ロック

	<u> </u>
<b>T</b>	
	•

設定項目	設定内容	
動作	操作ロック用スイッチの動作を [ロック&解除]、 [ロック]、 [解除] から選択し ます。	
自動解除しない	チェックをつけると、本体設定 [拡張機能設定] - [操作ロック設定]の[自動解 除時間]に設定した時間が経過してもロックが自動的に解除されません。	
操作ログの取得	[動作]で[実行]を選択した場合に、操作ログの取得を行うかどうかを指定します。 MEMO ・共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。	

セキュリティ

特殊動作		
セキュリティ	•	
動作		
パスワード設定	•	
- 設定モ−ド ・ 上書 ・ 追記	読み込み元 © CFカード	○ USBストレージ
🔲 パスワードを反映後、CSVファイルを削除する		

設定項目	設定内容
動作	オンライン中のパスワード変更用スイッチの動作を [パスワード設定]、[ログオン]、[ログオフ]から選択します。 
	МЕМО
	• GP-3300 シリーズは Rev.4 以上の機種のみこの機能を使用できます。
設定モード	[動作]で[パスワード設定]を選択した場合に、[上書]または[追記]から選択 します。
	• 上書
	読み込んだバスジートを既存のバスジートに上書さします。 • 追記
	読み込んだパスワードを既存のパスワードに追記します。
設定項目	設定内容
---------------------------------	---
読み込み元	パスワードの読み込み元を [CF カード ] または [USB ストレージ ] から選択しま す。
パスワードを反映後、 CSV ファイルを削除す る	[読み込み元]のパスワード反映後、CSV ファイルを削除するかどうかを設定し ます。
ログオフ画面	[動作]で[ログオフ]を選択した場合に、ログオフの画面を[起動時の画面]、 [指定画面]、[画面移動なし]から選択します。 • 画面番号 [指定画面]を選択した場合は、ログオフ時に表示する画面番号を指定します。
操作ログの取得	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。  MEMO  ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

ファイル項目用スイッチ

特殊動作	
ファイル項目用スイッチ	-
動作	
SRAM→接続機器に転送	-
識別番号	
p 🗄 🔳	

設定項目	設定内容
動作	特殊データ表示器 [ ファイリング ] を操作するスイッチの動作を [SRAM→ 接続 機器に転送 ]、[SRAM→ 内部デバイスに転送 ]、[ 接続機器 →SRAM に転送 ]、 [ 接続機器 → 内部デバイスに転送 ]、[ 内部デバイス →SRAM に転送 ]、[ 内部デ バイス → 接続機器に転送 ]、[ 上移動 ]、[ 下移動 ] から選択します。
識別番号	特殊スイッチで操作したい特殊データ表示器 [ファイリング]の ID 番号を設定します。設定範囲は 0 ~ 255 までです。
移動数	[動作]で[上移動]、[下移動]を選択した場合に、1回のタッチで移動する数を 1 ~ 2048 で設定します。
連続移動機能	[動作]で[上移動]、[下移動]を選択した場合に、タッチしている間移動を続け る機能を使用するかどうかを指定します。 特殊データ表示器[ファイリング]にはこの機能はありません。
	[動作]で[SRAM→接続機器に転送]、[SRAM→内部デバイスに転送]、[接続機器→SRAMに転送]、[接続機器→内部デバイスに転送]、[内部デバイス →SRAMに転送]、[内部デバイス→接続機器に転送]を選択した場合に、操作ログの取得を行うかどうかを指定します。
操作ログの取得	МЕМО
	<ul> <li>・ 共通設定 [操作ログ設定]で [操作ログ機能を使用する]にチェックを入れていない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセージが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ設定を有効にしてください。</li> </ul>

データ転送用スイッチ

特殊動作	
データ転送用スイッチ	-
動作	
CF/USB→接続機器に転 💌	

設定項目	設定内容
動作	特殊データ表示器 [ データ転送 ] を操作するスイッチの動作を [CF/USB→ 接続機器に転送 ]、 [ 接続機器 →CF/USB に転送 ]、 [ 上スクロール ]、 [ 下スクロール ]、 [CSV データ表示 ] から選択します。
スクロール数	[動作]で[上スクロール]、[下スクロール]を選択した場合に、1回のタッチで 移動する数を1~100で設定します。
連続スクロール機能	[動作]で[上スクロール]、[下スクロール]を選択した場合に、タッチしている 間移動を続ける機能を使用するかどうかを指定します。 特殊データ表示器[データ転送]にはこの機能はありません。
操作ログの取得	[動作]で[CF/USB→接続機器に転送]、[接続機器→CF/USBに転送]を選択し た場合に、操作ログの取得を行うかどうかを指定します。
	MEMO  ・ 共通設定 [操作ログ設定]で [操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。 [操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

CSV 表示器用スイッチ

特殊動作			
CSV表示器用スイッチ		•	
動作	スク	ロール数	
上スクロール	- 1		<b>H</b>
	V	連続スクロール	機能

設定項目	設定内容
動作	特殊データ表示器 [CSV 表示 ] を操作するスイッチの動作を [ 上スクロール ]、 [ 下スクロール ]、[ 左スクロール ]、[ 右スクロール ]、[ 印刷 - 全体 ]、[ 印刷 - 表 示 ] から選択します。
スクロール数	[動作]で[上スクロール]、[下スクロール]、[左スクロール]、[右スクロー ル]を選択した場合に、1回のタッチで移動する数を1~1000で設定します。
連続スクロール機能	[動作]で[上スクロール]、[下スクロール]、[左スクロール]、[右スクロー ル]を選択した場合に、タッチしている間移動を続ける機能を使用するかどうか を指定します。 特殊データ表示器[CSV表示]にはこの機能はありません。

動画表示器用スイッチ

特殊動作	
動画表示器用スイッチ	•
動作	
再生 💌	

設定項目	設定内容
動作	[動画表示器]の動画再生を操作するスイッチの動作を[再生]、[停止]、[一時 停止]、[早送り再生]、[巻き戻し再生]、[スロー再生]、[コマ送り]、[コマ戻 り]、[動画切替]、[ズーム]、[移動]、[ビデオ表示]から選択します。
スピード	[動作]で[スロー再生]を選択した場合に、再生速度を[1/2 倍]、[1/4 倍]、[1/8 倍]から指定します。
コマ送り指定	[動作]で[コマ送り]を選択した場合に、[コマ送り幅(大)]、[コマ送り幅 (小)]から選択します。[一時停止]の状態でのみ使用できます。 特殊動作 動画表示器用スイッチ 動作 コマ送り コマ送り指定 ○コマ送り幅(大) ○コマ送り幅(小)
連続コマ送り (連続コマ戻り)	[動作]で[コマ送り](または[コマ戻り])を選択した場合に、スイッチを押し ている間、連続してコマ送り(またはコマ戻り)を行うかどうか指定します。
詳細動作	<ul> <li>[動作]で[動画切替]を選択した場合に、[次へ]、[前へ]、[番号指定]から選択します。</li> <li>ループ [次へ]、[前へ]を選択した場合に、ループ動作を行うかどうかを指定します。</li> <li>番号指定 再生する動画ファイルのインデックス番号を0~99で設定します。</li> <li>[動作]で[移動]を選択した場合は、[上]、[下]、[左]、[右]から選択します。1回の移動範囲は以下のとおりです。</li> <li> <u>方向 SDX ファイル再生時 ビデオ再生時</u> <u>左右方向 2 ドット単位</u> <u>2 ドット単位</u> <u>2 ドット単位</u> <u>1 ドット単位</u> <u>1 ドット単位</u> </li> <li>連続移動         <u>スイッチを押している間、移動を行うかどうかを指定します。</u> </li> </ul>

設定項目	設定内容	
詳細動作	[動作]で[ビデオ表示]を選択した場合に、[表示 ON]、[表示 OFF]、[表示 ON/ OFF] から選択します。	
動作モード	[動作]で[ズーム]を選択した場合に、[直接]、[間接]から選択します。 • 表示サイズ [直接]を選択した場合に、表示サイズを[標準]、[1/4]、[1/16]、[段階 ズーム]から選択します。 [段階ズーム]は、スイッチを押すたびに「標準 1/4 1/16 1/4 標準」 の順でズームを行います。[ループ]を指定すると「標準 1/4 1/16 標準 1/4」の順で段階ズームを行います。 動作 ズーム 動作 で直接 ○ 間接 ○ 1/4	
	<ul> <li>○ 1/16</li> <li>○ 段階ズーム</li> <li>□ ループ</li> </ul>	
	<ul> <li>ワードアドレス         [間接]を選択した場合に、表示サイズを格納するアドレスを指定します。         表示サイズの値は次のとおりです。         0:標準         1:1/4         2:1/16         3 ~ 0xFFFE:予約(変化なし)         0xFFFF:通常(メイン画面の設定に戻す)         </li> </ul>	

モニタ起動スイッチ

特殊動作	
モニタ起動スイッチ	•
動作	
ラダーモニタ	•

設定項目	設定内容
動作	<ul> <li>[ラダーモニタ]、[ラダーモニタ(キャッシュ)]、[デバイスモニタ]から選択 します。</li> <li>ラダーモニタ ラダーモニタ画面を起動します。起動してから[読み出し]を行うことでラ ダーが表示されます。起動時点ではラダーは表示されていません。</li> <li>ラダーモニタ(キャッシュ) 最初は CF カードに保存している前回のラダーモニタ終了時点のラダーを表示 します。</li> <li>デバイスモニタ デバイスモニタ デバイスモニタ回面を起動します。</li> <li>(Phi 2 接続機器デバイスの現在値を一覧で確認したい(デバイスモニタ)」 (A-42 ページ)</li> <li>MEMO</li> <li>ラダーモニタを使用するには、ご使用の PLC 専用のラダーモニタツール(別売 品)が必要です。使用方法はラダーモニタの CD-ROM 内にありますラダーモニ タオペレーションマニュアルをご参照ください。</li> </ul>
操作ログの取得	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。  MEMO  ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

アプリケーション起動

WinGP を使用する場合に、アプリケーションをタッチで起動させるためのスイッチです。

特殊動作
アプリケーション起動
EXE/(ス
パラメータ
▶ 多重起動の禁止
ウィンドウタイトル
□ 完全にタイトルが一致するウィンドウを検索

設定項目	設定内容
EXE パス	起動したいアプリケーションの実行ファイル(.exe)の絶対パスを入力します。 最大 255 文字まで入力できます。
パラメータ	実行ファイル起動時の引数を入力します。最大 255 文字まで入力できます。
多重起動の禁止	多重起動を監視するための [ウィンドウタイトル]を設定します。最大 63 文字ま で入力できます。 [ウィンドウタイトル]と一致するウィンドウが見つかれば、アプリケーション を起動しません。[ウィンドウタイトル]に何も設定されていない場合は、多重 起動許可となります。
完全にタイトルが一致 するウィンドウを検索	[ウィンドウタイトル]に設定したタイトルと、完全に一致するウィンドウが見 つかれば、指定したアプリケーションを実行しません。
操作ログの取得	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。  MEMO  ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

WinGP の終了

WinGP を終了します。

特殊動作	
WinGPの終了	•
□ 確認ダイアログを表示	

設定項目	設定内容		
確認ダイアログを表示	WinGP 終了時に確認メッセージを表示します。		
操作ログの取得	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。  MEMO  ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。		

スイッチ共通 / ランプ機能 / カラー / 銘板 スイッチの種類にかかわらず共通で設定します。 <sup>②</sup>「10.15.1 ビットスイッチ スイッチ共通 / 基本」(10-51 ページ) <sup>③</sup>「10.15.1 ビットスイッチ ランプ機能 / 基本」(10-54 ページ) <sup>③</sup>「10.15.1 ビットスイッチ カラー」(10-57 ページ) <sup>③</sup>「10.15.1 ビットスイッチ 銘板」(10-58 ページ)

#### 10.15.5 セレクタスイッチ

ロータリセレクタスイッチ(タッチするごとにビットを順に ON するスイッチ)を作成します。

- ・ セレクタスイッチは電源投入後、最初にタッチしたときに設定した各ビットアドレスのデータを接続機器(PLC など)から読み出し、GP 内部にその情報を保持すると同時に、セレクタ動作が行われます(ON になっているビットアドレスの次のビットが ON されます)。その後は接続機器のアドレスデータを読みには行かず、内部に保持している情報(前回どのビットアドレスを ON したか)を元にしてセレクタ動作が行われます。
   最初のタッチ後に接続機器の各ビットアドレスデータを変更してもセレクタスイッチにすぐに反映されるわけではなく、セレクタスイッチを次にタッチした時点でデータが上書きされます。
  - 複数の接続機器(PLCなど)のアドレスを設定し動作させているときに、ある接続 機器で通信エラーが発生した場合、その接続機器への書き込みが行われるまでは通 常に動作を続け、通信不可の接続機器への書き込みを行った時点で書き込みエラー が表示されます。書き込みエラーの表示は、通信復旧後に画面切り替えを行うと消 えます。

スイッチ機能

スイッチ機能 スイッチ共通 ランプ	/機能 カラー 銘板
✓ スイッチ機能 マルチファンクションリスト セレクタスイッチ	ビットスイッチ ワードスイッチ     画面切替     特殊スイッチ     セレクタスイッチ       選択番号
	ビットアドレス数 ビットアドレス1
	2 🔁 🏥  [PLC1]X00000 🔽 🧰
	ビットアドレス2
	[PLC1]X00000 🔽 🧰
	ビットアドレス3
	ビットアドレス4
追加	

設定項目	設定内容		
選択番号	セレクタスイッチの識別番号を設定します。設定範囲は0~2047です。 MEMO   ・設定した選択番号は、プロジェクトファイル内の全画面で共通です。複数の画面に、同じ選択番号で同じビットアドレスを設定したセレクタスイッチを配置すると、別の画面に切り替えても前の画面で行った操作が引き継がれます。  ・同じ選択番号のセレクタスイッチを複数配置する場合、それぞれのスイッチに別のビットアドレスを設定すると正しく動作しません。		
ビットアドレス数	1 個のセレクタスイッチで操作するビットアドレス数を2~4で設定します。		
ビットアドレス1~4	[ビットアドレス数]で指定した数分のビットアドレスを設定します。		

スイッチ共通 / ランプ機能 / カラー / 銘板 スイッチの種類にかかわらず共通で設定します。 <sup>②</sup>「10.15.1 ビットスイッチ スイッチ共通 / 基本」(10-51 ページ) <sup>③</sup>「10.15.1 ビットスイッチ ランプ機能 / 基本」(10-54 ページ) <sup>③</sup>「10.15.1 ビットスイッチ カラー」(10-57 ページ) <sup>③</sup>「10.15.1 ビットスイッチ 銘板」(10-58 ページ)

# 10.16 セレクタリスト部品の設定ガイド

🏄 セレクタリスト					×
部品ID [LP_0000 益] コメント	セレクタリスト設定 フォント設定 ス 表示件数 1 重 重 セレクタファンクションリスト ビット探作 ビットセット 「一行操作」で クまたの 画面切替」画面切替	Aイッチ設定 ビット操作 ワードアドレス [FLC1]D00111 ワード動作 データ書込み	ワード操作	データ形式 回面切替 データ形式 Dec ビット長 16ビット 定数 1	<b> 特殊操作</b> マ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
	道加 肖明除 コピーして追加	項目名設定 • 直接文字列 一機能2	0 文字列	利テーブル	一覧表示
ヘルプ(円)				OK ( <u>O</u> )	キャンセル

MEMO

• GP-3300 シリーズは Rev.4 以上の機種のみこの機能を使用できます。

設定項目	設定内容		
部品 ID	配置された部品には ID 番号が自動的に割り当てられます。 セレクタリスト部品の ID:LP_****(数字4桁) 英字部分は固定です。数字部分は0000~9999の範囲で変更できます。		
コメント	部品に対するコメントを最大 20 文字まで設定できます。		
表示件数	リストに表示する操作の件数を1~16の範囲で設定します。 16件以下の場合は、追加した数だけ表示します。		
操作の種類	<ul> <li>ビット操作 指定したビットを ON/OFF する操作スイッチです。</li> <li>「* 「10.16.1 ビット操作」(10-84 ページ)</li> <li>ワード操作 指定したワードアドレスにデータをセットする操作スイッチです。</li> <li>「* 「10.16.2 ワード操作」(10-89 ページ)</li> <li>画面切替 画面切替の操作スイッチです。</li> <li>「* 「10.16.3 画面切替」(10-92 ページ)</li> <li>特殊操作 GPをオフラインモードに切り替えるための操作スイッチやウィンドウを表示 するための操作スイッチなど、特殊な機能を持つ操作スイッチです。</li> <li>「* 「10.16.4 特殊操作」(10-93 ページ)</li> </ul>		

設定項目	設定内容
	設定した操作の種類を表示します。最大 256 個まで追加できます。
	МЕМО
セレクタファンクション リスト	<ul> <li>セレクタファンクションリストで、機能を選択して右クリックし [既定とする (D)]を選択すると、その機能がリストの先頭に表示されるスイッチとして登録 されます。リストの先頭に表示される機能は、タッチ操作でリストから選択す る手順がいらないため頻繁に使われる機能は規定として設定しておくと便利で す。</li> </ul>
追加	このボタンをクリックして追加したい操作を選択し、[セレクタファンクション リスト]に操作を追加します。
削除	[セレクタファンクションリスト]で選択した操作を削除します。
コピーして追加	[セレクタファンクションリスト]で選択した操作をコピーして、最後尾に追加 します。
↑ / ↓ (上移動 / 下移動)	[セレクタファンクションリスト]で選択した機能を1つ上(または下)に移動 させ、リストの表示順を変更します。

# 10.16.1 ビット操作

セレクタリスト設定

セレクタリスト設定 フォント設定 スイッチ設定				
表示件数 1 🗄 🧮				
セレクタファンクションリスト	В	W		
	ビット操作	ワード操作	画面切替	特殊操作
	ビットアドレス [PLC1]X00000			
	ビット動作 ビットセット			

設定項目	設定内容		
ビットアドレス	操作したいビットアドレスを指定します。		
ビット動作	<ul> <li>ビット操作の動作を選択します。</li> <li>ビットセット スイッチを押すと[ビットアドレス]で指定したビットが ON になります。</li> <li>ビットリセット スイッチを押すと[ビットアドレス]で指定したビットが OFF になります。</li> <li>ビット反転 スイッチを押すごとに[ビットアドレス]で指定したビットの ON/OFF を切り 替えます。</li> <li>比較 スイッチを押すと指定ワードアドレスのデータと定数を比較します。</li> <li>その結果、条件が成立した場合に[ビットアドレス]で指定したビットが ON になります。</li> </ul>		

比較



設定項目	設定内容
比較用ワードアドレス	比較するワードアドレス(16 ビット長)を指定します。ここで指定したアドレス に格納されているデータと[定数]を比較し、条件が成立している場合に[ビッ トアドレス]を ON します。
比較条件	比較式の条件を、=, < , > , < > , < = , > = から選択します。
定数	比較する値を設定します。[データ形式]により設定範囲が異なります。 Dec:-32768 ~ 32767 BCD:0 ~ 9999 Hex:0 ~ FFFF
データ形式	定数のデータ形式を [Dec]、[BCD]、[Hex] から選択します。

フォント設定

💣 セレクタリスト									×
部品ID LP 0000 🗮	セレクタリスト設定	フォント設定	イッチ影	定]					
	フォントタイプ	標準フォント	•	サイズ	8 × 24	ドット	•		
	表示言語	日本語	•						
				文字飾り	標準		•		
	文字カラー	7	•		ブリンク	無し	•		
	背景カラー	0	•		ブリンク	無し	•		
∧.u.⊐?(H)			_				OK(0)	キャンカル	

設定項目	設定内容
フォントタイプ	<ul> <li>[標準フォント]、[ストロークフォント]から選択します。</li> <li>標準フォント ビットマップフォントで、文字の縦・横の比率を倍率指定できます。文字を拡 大/縮小すると輪郭が粗くなったりつぶれる場合があります。</li> <li>ストロークフォント 文字の縦・横の比率が固定されているアウトラインフォント(線の組み合わせ で定義されたフォント)です。文字を拡大/縮小しても綺麗な輪郭で表示でき ますが、容量が大きいため GP の負担になる場合があります。</li> </ul>
サイズ	<ul> <li>文字サイズを設定します。フォントタイプにより設定範囲が異なります。</li> <li>サイズ 標準フォント: [8 × 8] ~ [64 × 128] まで、横×縦を 8 ドット単位で指定する か、[6 × 10]、[8 × 13]、[13 × 23]の固定サイズで指定しま す。固定サイズは半角英数字のみ表示できます。</li> <li>ストロークフォント:6~127 [文字サイズ自動調整]にチェックを入れた場合は、[最 大サイズ]と[最小サイズ]の設定ができます。</li> <li>固定サイズ [標準フォント]選択時のみ選択可能で、「6 × 10 ドット」「8 × 13 ドット」 「13 × 23 ドット」から指定します。半角英数字のみ表示できます。</li> <li>「6 × 10 ドット」を選択した場合、[文字飾り]の[太字]は選択できません。</li> </ul>
表示言語	銘板の表示言語を、[日本語]、[欧米]、[中国語(簡体字)]、[中国語(繁体 字)]、[韓国語]、[キリル文字]、[タイ語]から選択します。
文字飾り	選択したフォントにより、それぞれ以下の文字飾りを設定できます。 標準フォント:[標準]、[太字]、[影付き] (固定サイズの[6 × 10]を選択した場合は[標準]、[影付き]から選択) ストロークフォント:[標準]、[太字]、[中抜き]
文字カラー	文字列の表示色を設定します。
背景カラー	文字の背景色を設定します。

設定項目	設定内容					
影カラー	[フォントタイプ]が[標準フォント]で、[文字飾り]が[影付き]を設定してい る場合に、文字の影の色を設定します。					
	点滅表示の有無および点滅の速さを設定します。[表示カラー]、[パターンカラー]、[枠カラー]それぞれ設定できます。					
プリンク	MEMO <ul> <li>本体機種とシステム設定の[色数設定]によりプリンクを設定できない場合があります。</li> <li>③ 「851カラーを設定する 対応の数一覧 (8-35 ページ)</li> </ul>					

スイッチ設定

📽 lat is burn t	
💕 ଅレクダリスト	
部品ID	セレクタリスト設定しフォント設定し、スイッチ設定し、
LP_0000 🚍	
אַלאַב	▼ 実行 スイッチ選択 銘板
	□ 上移動
	□ 下移動
ABC	
	- フォント設定
形状選択	フォントタイプ 標準フォント 🔽 文字カラー 🥅 7 🔽
	表示言語
	表示カラー 💶 2 ブリンク 無し 💌
へルプ( <u>H</u> )	OK((2) キャンセル



設定項目	設定内容
スイッチ選択	[スイッチ配置] で有効にしたスイッチから、動作や銘板、カラーなどを設定す るスイッチを選択します。
移動数	[上移動]、[下移動]を選択した場合に、スクロールの移動数を設定します。
連続移動設定	[詳細動作]で[上移動]、[下移動]を選択した場合に、タッチしている間移動を 続ける機能を使用するかどうかを指定します。 アラーム部品にはこの機能はありません。
銘板	スイッチに表示する銘板の文字列を入力します。文字数は 400 文字 ( 横 100 文 字、縦 4 行 ) まで入力できます。 MEMO ・ スイッチを選択して [F2] キーを押すと、銘板の文字列を直接編集できます。
フォントタイプ	<ul> <li>[標準フォント]、[ストロークフォント]から選択します。</li> <li>・標準フォント ビットマップフォントで、文字の縦・横の比率を倍率指定できます。文字を拡 大/縮小すると輪郭が粗くなったりつぶれる場合があります。</li> <li>・ストロークフォント 文字の縦・横の比率が固定されているアウトラインフォント(線の組み合わせ で定義されたフォント)です。文字を拡大/縮小しても綺麗な輪郭で表示でき ますが、容量が大きいため GP の負担になる場合があります。</li> </ul>
文字カラー	文字列の表示色を設定します。
表示言語	銘板の表示言語を、[日本語]、[欧米]、[中国語(簡体字)]、[中国語(繁体 字)]、[韓国語]、[キリル文字]、[タイ語]から選択します。
枠カラー	スイッチの枠の色を設定します。
表示カラー	スイッチの色を選択します。
パターン	スイッチの柄(パターン)を9種類から選択します。
パターンカラー	パターン(柄)の色を選択します。 スイッチの色は[表示カラー]と[パターンカラー]の組み合わせで表示されま す。
ブリンク	点滅表示の有無および点滅の速さを設定します。[枠カラー]、[表示カラー]、 [パターンカラー]それぞれ設定できます。 MEMO ・本体機種とシステム設定の[色数設定]によりブリンクを設定できない場合が あります。 <sup>②●</sup> 「8.5.1 カラーを設定する 対応色数一覧」(8-35 ページ)

# 10.16.2 ワード操作

セレクタリスト設定

セレクタリスト設定フォント設定	スイッチ設定		
表示件数 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	ビット操作         ワード操作	画面切替	また 特殊操作
	ワードアドレス [PLC1]D00000 💌 📰 ワード動作 データ書込み 💌	データ形式 Dec ビット長 16ビット 定数 1	V V H

設定項目			設定内容		
ワードアドレス	データを格納したい	フードアドレス	を指定します。		
ワード動作	<ul> <li>ワード探作の動作を選択します。</li> <li>データ書込み スイッチを押すと[ワードアドレス]で指定したアドレスにデータを書き込み ます。</li> <li>データ加算/データ減算 スイッチを押すと加算元となるワードアドレスのデータに定数を加算(または 減算)し、その結果を[ワードアドレス]に書き込みます。</li> <li>「データ加算/減算」(10-90ページ)</li> <li>桁加算/桁減算 スイッチを押すたびに、指定した桁位置のデータに1ずつ加算(または減算) し、[ワードアドレス]に書き込みます。桁上がりや桁下がりは行いません。</li> <li>「「「桁加算/減算」(10-90ページ)</li> <li>演算 演算元となるワードアドレスのデータと設定した定数を演算(論理積/論理和/ 排他的論理和)し、その結果を[ワードアドレス]に書き込みます。</li> </ul>				
データ形式	定数のデータ形式を	[Dec]、[BCD]、	[Hex] から選択します。		
ビット長	定数のビット長を [10	5ビット]、[32	ビット]から選択します。		
	指定した[ワードアドレス]に書き込みたい値を設定します。 [データ形式]により設定範囲が異なります。				
	ビット長	データ形式	定数		
		Dec	-32768 ~ 32767	_	
定数	16 ビット	BCD	0 ~ 9999		
		Hex	$0 \sim \text{FFFF}$		
		Dec	-2147483648 ~ 2147483647	4	
	32 ビット	BCD	0 ~ 99999999		
		Hex	$0 \sim FFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFFF$	J	

データ加算 / 減算

ワード動作 データ加算	•	データ形式 Bin	
加算元ワードアドレス [PLC1]D00000	<b>•</b>	定数 + 1 <u>] </u>	
		D00000 = D00000 + 1	

設定項目		設定内容				
加算元ワードアドレス (減算元ワードアドレ ス )	ここで指定したアドレスのデータに、指定した[定数]を加算(または減算)し た結果を[ワードアドレス]に書き込みます。					
データ形式	定数のデ	定数のデータ形式を [Bin]、[BCD] から選択します。				
加算(または減算)したい値を設定します。[データ形式]により設定範囲 なります。					囲が異	
		ワード動作	データ形式	定数		
定数		加算	Bin	0 ~ 32767		
			BCD	0 ~ 9999		
	试答	Bin	0 ~ 32768			
		顺异	BCD	0 ~ 9999		

桁加算 / 減算

ワードアドレス [PLC1]D00000 💽 🥅	
ワード動作 【桁加算	桁位置 1 <u>動</u> データ形式 Bin マ

設定項目	設定内容
桁位置	加算(または減算)したい桁位置を1~4で設定します。
データ形式	データ形式を [Bin]、[BCD] から選択します。

演算

ワード動作  演算	•				
演算元ワードアドレス  [PLC1]D00000	•	演算子 AND	•	定数 1	(Hex)
				D0000	00 AND 1

設定項目	設定内容
演算元ワードアドレス	演算するために参照したいワードアドレスを指定します。ここで指定したアドレ スに格納されているデータに定数を演算した結果を、[ワードアドレス]に書き 込みます。
演算子	演算子を[AND]、[OR]、[XOR] から選択します。         • AND (論理積)         2つのビットのうちどちらかが「0」のとき「0」、どちらも「1」のときは「1」         となります。         • OR (論理和)         2つのビットのうちどちらかが「1」のとき「1」、どちらも「0」のときは「0」         となります。         • OR (論理和)         2つのビットのうちどちらかが「1」のとき「1」とちらも「0」のときは「0」         となります。         • XOR (排他的論理和)         2つのビットが同じ値のとき「0」異なる値のとき「1」となります。         例)演算元ワードアドレスの値が「5」、定数の値が「3」の場合         AND       OR         演算元ワードアドレス       0101         定数       0011         1       0101         0011       0101         6       0
定数	演算する値を指定します。設定範囲は 0 ~ FFFF です。

### フォント設定 / スイッチ設定

操作の種類にかかわらず共通で設定します。 <sup>② ©</sup>「10.16.1 ビット操作 フォント設定」(10-85 ページ) <sup>③ ©</sup>「10.16.1 ビット操作 スイッチ設定」(10-87 ページ)

#### 10.16.3 画面切替

ベース画面切り替え操作用スイッチを作成します。

# セレクタリスト設定

セレクタリスト設定フォント設定)	スイッチ設定			
表示件数 1 <u></u>	<b>いまた</b> ビット操作	<b>した</b> ワード操作	画面切替	特殊操作
	画面切替動作 画面切替	<b>•</b>		
	, 画面番号 1			
	🗌 階層画面切	替		

設定項目	設定内容
画面切替動作	<ul> <li>画面切替の動作を選択します。</li> <li>● 画面切替 スイッチを押すと、表示中の画面から指定した画面へ表示を切り替えます。</li> <li>● 前画面に戻る スイッチを押すと、表示中の画面からその前に表示していた画面に戻ります。 画面が階層構造になっている場合は、1つ上の階層画面(親画面)に戻ります。</li> </ul>
画面番号	表示させたい画面の番号を1 ~ 9999 で指定します。[画面切替動作]で[画面切 替]を選択した場合のみ指定できます。
階層画面切替	画面切り替えに階層構造を持たせることができます。[画面切替動作]で[画面切替]を選択した場合のみ指定できます。32階層まで設定できます。

### フォント設定 / スイッチ設定

操作の種類にかかわらず共通で設定します。 <sup>② ©</sup>「10.16.1 ビット操作 フォント設定」(10-85 ページ) <sup>③ ©</sup>「10.16.1 ビット操作 スイッチ設定」(10-87 ページ)

# 10.16.4 特殊操作

特殊な機能を持った操作スイッチを作成します。

# セレクタリスト設定

セレクタリスト設定	スイッチ設定			
表示件数 1 三 <u>第</u> セレクタファンクションリスト 特殊操作_ウィンドウ表示スイッチ	<b>当日</b> ビット操作	10-ド操作	画面切替	特殊操作
	特殊動作  ウィンドウ表示 ウィンドウ部品ID  0	2/vf )	×	

設定項目	設定内容
特殊動作	<ul> <li>特殊操作の動作を選択します。</li> <li>ウィンドウ表示スイッチ</li> <li>ウィンドウをスイッチで起動する場合に設定するウィンドウ部品に付属するス イッチと同じ動作です。スイッチを押すと指定したウィンドウ部品に付属するス イッチと同じ動作です。スイッチを押すと指定したウィンドウを表示し、もう ー度押すとウィンドウを閉じます。</li> <li>アラーム履歴用スイッチ アラーム部品に付属するスイッチと同じ動作です。表示されたアラーム履歴を 操作(確認・移動・クリアなど)する操作スイッチを作成します。</li> <li>③<sup>P</sup>r アラーム履歴用スイッチ」(10-96 ページ)</li> <li>テキストアラーム用スイッチ」(10-97 ページ)</li> <li>テキストアラーム用スイッチ」(10-97 ページ)</li> <li>ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ ビストリカルトレンドグラフ用スイッチを作成します。</li> <li>③<sup>P</sup>r ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチと同じ動作です。過去 データを表示したりスクロールする操作スイッチを作成します。</li> <li>③<sup>P</sup>r ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ」(10-97 ページ)</li> <li>サンブリングデータ表示用スイッチ サンブリングデータ表示用スイッチ</li> <li>サンブリングデータ表示用スイッチ」(10-97 ページ)</li> <li>サンブリングデータ表示品に付属するスイッチと同じ動作です。サンブリング データ表示器をスクロールする操作スイッチを作成します。</li> <li>③<sup>P</sup>r サンブリングデータ表示用スイッチ」(10-97 ページ)</li> <li>操作ロック GP-Viewer が操作を開始すると他の GP/GP-Viewer で操作ができない設定を するためおよびその設定を解除するための操作スイッチを作成します。</li> <li>③<sup>P</sup>r 操作ロック」(10-98 ページ)</li> <li>セキュリティ オンラインモード中(接続機器との通信中)のパスワード変更用の操作スイッ チを作成します。</li> </ul>

設定項目	設定内容
	<ul> <li>ファイル項目用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器[ファイリング]に付属するスイッチと同じ動作です。ファイリングデータの転送やファイリング表示器のスクロールを行う操作スイッチなどを作成します。</li> </ul>
	└☞ ファイル項目用スイッチ」(10-99 ページ)
	<ul> <li>ファイルマネージャ表示用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器[ファイルマネージャ]に付属するスイッチと同じ動作です。</li> <li>ファイルマネージャを画面に表示させる操作スイッチを作成します。</li> </ul>
	<ul> <li>データ転送用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器 [データ転送]に付属するスイッチと同じ動作です。</li> <li>CSV データの転送やデータ転送表示器のスクロールを行う操作スイッチなどを</li> <li>作成します。</li> </ul>
	☞ データ転送用スイッチ」(10-100 ページ)
	<ul> <li>CSV 表示器用スイッチ</li> <li>特殊データ表示器 [CSV 表示] に付属するスイッチと同じ動作です。</li> <li>CSV 表示器のスクロールや CSV データの印刷を行う操作スイッチを作成します。</li> </ul>
	<sup>②予</sup> 「 CSV 表示器用スイッチ」( 10-100 ページ )
	<ul> <li>動画表示器用スイッチ</li> <li>動画表示器に付属するスイッチと同じ動作です。動画再生時の画面操作用スイッチを作成します。</li> </ul>
特殊動作	☞ 「 動画表示器用スイッチ」(10-101 ページ)
	<ul> <li>モニタ起動スイッチ</li> <li>デバイスモニタやラダーモニタを画面に表示させる操作スイッチを作成します。</li> </ul>
	└☞「 モニタ起動スイッチ」(10-102 ページ)
	<ul> <li>アプリケーション起動 WinGPを使用する場合に、アプリケーションの実行ファイルを直接指定して起 動する操作スイッチを作成します。起動時のパラメータや多重起動の監視など が設定できます。</li> </ul>
	☞ アプリケーション起動」(10-103 ページ)
	<ul> <li>WinGPの終了 WinGPを終了する操作スイッチを作成します。</li> </ul>
	<sup>C愛『</sup> 「 WinGP の終了」(10-104 ページ)
	● リセット 表示器のリセットが行われる操作スイッチを作成します。
	<ul> <li>オフライン</li> <li>表示器がオフラインモード(接続機器との通信を行っていない状態)へ移行する 操作スイッチを作成します。</li> </ul>
	• RPA ウィンドウ表示スイッチ
	RPA ウィンドウ表示器に付属するスイッチと同じ動作です。RPA ウィンドウを 画面に表示させます。
	<sup>②デ</sup> 「36.3 GP 上でパソコンの画面を表示 / 操作したい」(36-4 ページ)

設定項目	設定内容
特殊動作	<ul> <li>接続機器データ転送</li> <li>接続機器に(株)安川電機の MP シリーズイーサネット(拡張)を選択した場合、GP から接続機器へのラダー転送画面に移行するためのスイッチを作成します。</li> </ul>
	МЕМО
	<ul> <li>ラダー転送機能を有効にするには、[システム設定]ウィンドウの[接続機器設定]で[拡張機能] - [プログラム転送機能を使用する]にチェックを入れる必要があります。</li> </ul>
	• 転送設定の詳細についてはドライバの機器接続マニュアルを参照してくださ
	ل I <sub>0</sub>
ウィンドウ部品 ID	タッチで表示させるウィンドウ部品の ID を設定します。0 ~ 383 まで設定できます。

アラーム履歴用スイッチ

特殊動作	
アラーム履歴用スイッチ	-
動作	
開始	•
🗖 フリーズモード	

設定項目	設定内容
動作	アラーム履歴を操作するスイッチの動作を [ 開始 ]、 [ 終了 ]、 [ 確認 ]、 [ 移動 ]、 [ クリア ]、 [ ソート ]、 [ スクロール ]、 [ サブ表示 ]、 [ アラーム No. 取得キー ] か ら選択します。
フリーズモード	[動作]で[開始]を選択した場合のみ、フリーズモード(アラーム履歴の表示を 現在の状態でストップし、更新を行わないモード)を使用するかどうかを指定し ます。
	<ul> <li>[動作]で[確認]、[移動]、[クリア]、[ソート]を選択した場合に、動作の詳細を選択します。</li> <li>確認 [確認]、[全確認]から選択します。</li> <li>移動 [上移動]、[下移動]、[ロールアップ]、[ロールダウン]から選択します。</li> </ul>
詳細動作	<ul> <li>動作</li> <li>移動</li> <li>詳細動作</li> <li>ロールアップ</li> <li>1</li> </ul>
	<ul> <li>クリア         <ul> <li>[クリア]、[全クリア]、[復旧アラームクリア]、[確認アラームクリア]、[全 復旧アラームクリア]、[全確認アラームクリア]、[発生回数全てクリア]、 [発生回数個別クリア]、[累積時間全てクリア]、[累積時間個別クリア]から 選択します。</li> </ul> </li> </ul>
	<ul> <li>・ ソート         [発生日時順ソート]、[発生回数順ソート]、[累積時間順ソート]、[アラーム         登録順ソート]、[レベル&amp;日時順ソート]、[レベル&amp;発生回数順ソート]、         [ソート逆順]から選択します。     </li> <li>・ スクロール</li> </ul>
	[右スクロール]、[左スクロール]から選択します。
ロールアップ / ロール ダウン数	[詳細動作]で[ロールアップ]、[ロールダウン]を選択した場合に、1回のタッ チでロールアップ/ロールダウンする数を設定します。設定範囲は1 ~ 768 です。
操作ログの取得	<ul> <li>[動作]で[確認]、[クリア]を選択した場合に、操作ログの取得を行うかどうかを指定します。</li> <li>MEMO</li> <li>・共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れていない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセージが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ設定を有効にしてください。</li> </ul>

テキストアラーム用スイッチ

特殊動作	
テキストアラーム用スイッチ	<b>T</b>
動作	
上移動	

設定項目	設定内容
動作	テキストアラーム部品を操作するスイッチの動作を [ 上移動 ]、[ 下移動 ]、[ ロー ルアップ ]、[ ロールダウン ]、[ サブ表示 ]、[ 終了 ] から選択します。
ロールアップ / ロール ダウン数	[動作]で[ロールアップ]、[ロールダウン]を選択した場合に、1回のタッチで ロールアップ/ロールダウンする数を設定します。設定範囲は1~512です。

ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ

特殊動作	
ヒストリカルトレンドグラフ用スイッチ	•
動作	
過去データ表示スイッチ 💌	

設定項目	設定内容
動作	ヒストリカルトレンドグラフの過去データ表示を操作するスイッチの動作を [過 去データ表示スイッチ]、[古いデータへスクロール]、[新しいデータへスク ロール]、[拡大表示]、[縮小表示]から選択します。
スクロール数	[動作]で[古いデータへスクロール]、[新しいデータへスクロール]を選択した 場合に、1回のタッチでスクロールさせる数を設定します。設定範囲は1 ~ 65535です。
過去データ表示でのみ 使用する	[動作]で[拡大表示]、[縮小表示]を選択した場合に、過去データ表示時のみ使 用するかどうかを設定します。
ヒストリカルトレンド グラフ部品 ID	[動作] で [ 拡大表示 ]、[ 縮小表示 ] を選択した場合に、表示状態を反映するヒス トリカルトレンドグラフ部品の ID を設定します。

サンプリングデータ表示用スイッチ

特殊動作	
サンプリングデータ表示用スイッチ	•
動作したな	ロール数
上スクロール 💌 1	

設定項目	設定内容
動作	サンプリングデータ表示器を操作するスイッチの動作を [ 上スクロール ]、 [ 下ス クロール ]、 [ 左スクロール ]、 [ 右スクロール ] から選択します。
スクロール数	1回のタッチでスクロールさせる数を設定します。設定範囲は[上スクロール]、 [下スクロール]の場合は1~65535、[左スクロール]、[右スクロール]の場合 は1~514です。

操作ロック

特殊動作			
操作ロック		▼	
動作			
ロック&解除	-		
□ 自動解除しない			

設定項目	設定内容
動作	操作ロック用スイッチの動作を [ ロック&解除 ]、 [ ロック ]、 [ 解除 ] から選択し ます。
自動解除しない	チェックをつけると、本体設定[拡張機能設定] - [操作ロック設定]の[自動解 除時間]に設定した時間が経過してもロックが自動的に解除されません。ロック を解除するには、[動作]が[ロック&解除]または[解除]に設定した特殊ス イッチを配置しておく必要があります。

セキュリティ

特殊動作		
セキュリティ	-	
動作		
パスワード設定	-	
設定モード ・ 上書 ・ 追記	読み込み元 ⑥ CFカード	© USBストレージ
□ パスワードを反映	後、CSVファイルを削堝	余する

設定項目	設定内容
動作	オンライン中のパスワード変更用スイッチの動作を [ パスワード設定 ]、[ ログオ ン ]、[ ログオフ ] から選択します。
設定モード	<ul> <li>[動作]で[パスワード設定]を選択した場合に、[上書]または[追記]から選択します。</li> <li>・上書 読み込んだパスワードを既存のパスワードに上書きします。</li> <li>・追記 読み込んだパスワードを既存のパスワードに追記します。</li> </ul>
読み込み元	パスワードの読み込み元を [CF カード ] または [USB ストレージ ] から選択しま す。
パスワードを反映後、 CSV ファイルを削除す る	[読み込み元]のパスワード反映後、CSV ファイルを削除するかどうかを設定し ます。

設定項目	設定内容
ログオフ画面	[動作]で[ログオフ]を選択した場合に、ログオフの画面を[起動時の画面]、 [指定画面]、[画面移動なし]から選択します。 • 画面番号 [指定画面]を選択した場合は、ログオフ時に表示する画面番号を指定します。
	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。
操作ログの取得	MEMO  ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

ファイル項目用スイッチ

-
-

設定項目	設定内容
動作	特殊データ表示器 [ ファイリング ] を操作するスイッチの動作を [SRAM→ 接続 機器に転送 ]、[SRAM→ 内部デバイスに転送 ]、[ 接続機器 →SRAM に転送 ]、 [ 接続機器 → 内部デバイスに転送 ]、[ 内部デバイス →SRAM に転送 ]、[ 内部デ バイス → 接続機器に転送 ]、[ 上移動 ]、[ 下移動 ] から選択します。
識別番号	特殊スイッチで操作したい特殊データ表示器 [ファイリング]の ID 番号を設定します。設定範囲は 0 ~ 255 までです。
移動数	[動作]で[上移動]、[下移動]を選択した場合に、1回のタッチで移動する数を 1 ~ 2048 で設定します。
	[動作]で[SRAM→ 接続機器に転送]、[SRAM→ 内部デバイスに転送]、[接続機器 → SRAM に転送]、[接続機器 → 内部デバイスに転送]、[内部デバイス →SRAM に転送]、[内部デバイス → 接続機器に転送]を選択した場合に、操作ログ の取得を行うかどうかを指定します。
操作ログの取得	МЕМО
	<ul> <li>・ 共通設定 [操作ログ設定]で [操作ログ機能を使用する]にチェックを入れていない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセージが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ設定を有効にしてください。</li> </ul>

データ転送用スイッチ

特殊動作	
データ転送用スイッチ	-
動作	
CF/USB→接続機器に転 ▼	

設定項目	設定内容
動作	特殊データ表示器 [ データ転送 ] を操作するスイッチの動作を [CF/USB→ 接続機 器に転送 ]、 [ 接続機器 →CF/USB に転送 ]、 [ 上スクロール ]、 [ 下スクロール ]、 [CSV データ表示 ] から選択します。
スクロール数	[動作]で[上スクロール]、[下スクロール]を選択した場合に、1回のタッチで 移動する数を1 ~ 100で設定します。
操作ログの取得	[動作]で[CF/USB→接続機器に転送]、[接続機器→CF/USBに転送]を選択し た場合に、操作ログの取得を行うかどうかを指定します。
	<ul> <li>MEMO</li> <li>共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れていない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセージが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ設定を有効にしてください。</li> </ul>

CSV 表示器用スイッチ

特殊動作	
CSV表示器用スイッチ	<b>•</b>
動作	スクロール数
上スクロール	1 🗄 🏢

設定項目	設定内容
動作	特殊データ表示器 [CSV 表示 ] を操作するスイッチの動作を [ 上スクロール ]、 [ 下スクロール ]、[ 左スクロール ]、[ 右スクロール ]、[ 印刷 - 全体 ]、[ 印刷 - 表 示 ] から選択します。
スクロール数	[動作]で[上スクロール]、[下スクロール]、[左スクロール]、[右スクロー ル]を選択した場合に、1回のタッチで移動する数を1 ~ 1000 で設定します。

動画表示器用スイッチ

特殊動作	
動画表示器用スイッチ	-
動作	
再生	

設定項目	設定内容
動作	[動画表示器]の動画再生を操作するスイッチの動作を[再生]、[停止]、[一時 停止]、[早送り再生]、[巻き戻し再生]、[スロー再生]、[コマ送り]、[コマ戻 り]、[動画切替]、[ズーム]、[移動]、[ビデオ表示]から選択します。
スピード	[動作]で[スロー再生]を選択した場合に、再生速度を[1/2 倍]、[1/4 倍]、[1/8 倍]から指定します。
コマ送り指定	<ul> <li>[動作]で[コマ送り]を選択した場合に、[コマ送り幅(大)]、[コマ送り幅(小)]から選択します。[一時停止]の状態でのみ使用できます。</li> <li>動作 コマ送り コマ送り指定 ・コマ送り幅(大) ・コマ送り幅(小)</li> </ul>
詳細動作	[動作]で[動画切替]を選択した場合に、[次へ]、[前へ]、[番号指定]から選択します。 <ul> <li>ループ</li> <li>[次へ]、[前へ]を選択した場合に、ループ動作を行うかどうかを指定します。</li> <li>番号指定</li> <li>再生する動画ファイルのインデックス番号を0~99で設定します。</li> </ul> [動作]で[移動]を選択した場合は、[上]、[下]、[左]、[右]から選択します。1回の移動範囲は以下のとおりです。 <u>方向 SDXファイル再生時 ビデオ再生時</u> <u>左右方向 2ドット単位</u> <ul> <li>ドット単位</li> <li>ドット単位</li> <li>ドット単位</li> <li>ドット単位</li> </ul>
詳細動作	[動作]で[ビデオ表示]を選択した場合に、[表示 ON]、[表示 OFF]、[表示 ON/ OFF]から選択します。

設定項目	設定内容
	<ul> <li>[動作]で[ズーム]を選択した場合に、[直接]、[間接]から選択します。</li> <li>表示サイズ [直接]を選択した場合に、表示サイズを[標準]、[1/4]、[1/16]、[段階 ズーム]から選択します。 [段階ズーム]は、スイッチを押すたびに「標準 1/4 1/16 1/4 標準」の順でズームを行います。</li> </ul>
動作モード	動作 ズーム ▼ 動作モード 表示サイズ ○ 直接 ○ 間接 ○ 間接 ○ 段階ズーム
	<ul> <li>ワードアドレス         <ul> <li>[間接]を選択した場合に、表示サイズを格納するアドレスを指定します。</li> <li>表示サイズの値は次のとおりです。                 <ul> <li>0:標準</li></ul></li></ul></li></ul>

モニタ起動スイッチ

特殊動作	
モニタ起動スイッチ	-
動作	
२४-२८४ 💌	

[ラダーモニタ]、[ラダーモニタ(キャッシュ)]、[デバイスモニタ]から過します。         ・ ラダーモニタ         ラダーモニタ回面を起動します。起動してから[読み出し]を行うことでき         ダーが表示されます。起動時点ではラダーは表示されていません。         ・ ラダーモニタ(キャッシュ)         最初は CF カードに保存している前回のラダーモニタ終了時点のラダーをき         します。         ・ デバイスモニタ         デバイスモニタ回面を起動します。         「デバイスモニタ」         「付録 2 接続機器デバイスの現在値を一覧で確認したい(デバイスモニ (A-42 ページ)         MEMO         ・ ラダーモニタを使用するには、ご使用の PLC 専用のラダーモニタツール( 品)が必要です。使用方法はラダーモニタの CD-ROM 内にありますラダー タオペレーションマニュアルをご参照ください。	選 ラ 表 ニ 別モ 沢 示 タ 売ニ

設定項目	設定内容
操作ログの取得	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。  MEMO  ・ 共通設定 [操作ログ設定]で [操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい
	ない場合は、「部品値別の操作ロクを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

### アプリケーション起動

WinGPを使用する場合に、アプリケーションをタッチで起動させるための操作スイッチです。

特殊動作 アプリケーション起動	
EXE/\$2	
パラメータ	
▶ 多重起動の禁止	
ウィンドウタイトル	
□ 完全にタイトルが一致するウィンドウを検索	

設定項目	設定内容
EXE パス	起動したいアプリケーションの実行ファイル(.exe)の絶対パスを入力します。 最大 255 文字まで入力できます。
パラメータ	実行ファイル起動時の引数を入力します。最大 255 文字まで入力できます。
多重起動の禁止	多重起動を監視するための [ウィンドウタイトル]を設定します。最大 63 文字ま で入力できます。 [ウィンドウタイトル]と一致するウィンドウが見つかれば、アプリケーション を起動しません。[ウィンドウタイトル]に何も設定されていない場合は、多重 起動許可となります。
完全にタイトルが一致 するウィンドウを検索	[ウィンドウタイトル]に設定したタイトルと、完全に一致するウィンドウが見 つかれば、指定したアプリケーションを実行しません。
操作ログの取得	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。  MEMO  ・ 共通設定[操作ログ設定]で[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

WinGP の終了

WinGP を終了します。

特殊動作	
WinGPの終了	•
□ 確認ダイアログを表示	

設定項目	設定内容
確認ダイアログを表示	WinGP 終了時に確認メッセージを表示します。
	操作ログの取得を行うかどうかを指定します。
操作ログの取得	MEMO  ・ 共通設定 [操作ログ設定]で [操作ログ機能を使用する]にチェックを入れてい ない場合は、「部品個別の操作ログを取得できません」という内容のメッセー ジが表示されます。[操作ログ機能を使用する]にチェックを入れ、操作ログ 設定を有効にしてください。

フォント設定 / スイッチ設定

スイッチの種類にかかわらず共通で設定します。

- ☞ 「10.16.1 ビット操作 フォント設定」(10-85 ページ)
- ☞ 「10.16.1 ビット操作 スイッチ設定」(10-87 ページ)

# 10.17 制限事項

#### 10.17.1 スイッチの制限事項

- 表示器はアナログタッチパネル方式を採用しているため、画面上の複数箇所を同時にタッチ(2点 押し/3点押し)しないでください。
- モーメンタリスイッチを押している間に、スイッチを配置していない他の箇所を押しっぱなしにすると、モーメンタリスイッチから手を離しても ON したままの状態になりますのでご注意ください。
- 画面切り替え直後は画面の描画処理のため、スイッチが効かないことがあります。
- 接続機器(PLC など)のワードアドレスのビットを、[ビットセット]、[ビットリセット]、[ビットモーメンタリ]のスイッチで操作する場合、ワードアドレス内のその他のビットはすべて OFF されます。内部デバイスのワードアドレスの場合は、指定ビットのみを操作できます。
- [ビットモーメンタリ]のスイッチを押している状態で、接続機器(PLC など)から画面切り替え が行われた場合、指定ビットは OFF になります。
- ビットスイッチの[ビット反転]・[比較]、ワードスイッチの[データ加算/データ減算]・[演算]
   は、画面切り替え後に接続機器(PLCなど)にデータを読み込み、スイッチが押された時点でその データをもとに処理を行います。
   画面切り替え直後にスイッチを押した場合、まだデータを取り込めていないために誤った値が書き
   込まれる可能性があります。画面切り替え直後にスイッチを押す場合、これらのスイッチのアドレスは読み込みエリアに設定してください。
- ビットスイッチの[ビット反転]・[比較]、ワードスイッチの[データ加算/データ減算]・
   [演算]は、接続機器(PLCなど)から読み出したデータに対して書き込み動作を行っています。
   そのためスイッチをすばやく連続で押すと、接続機器に書き込んだデータを読み出す前に次の書
   き込みが発生するため、必ずしも押した回数分の値にならない場合があります。
  - (例1)ワードアドレスのデータを +1 する [データ加算]スイッチをすばやく 2回押した場合、必ずしも +2 された値にならないことがあります。
  - (例2)同じワードアドレス内のビット「0」とビット「1」を2つのスイッチを使用してビット反 転する場合、すばやく2個のスイッチを押すと、ビット「0」、ビット「1」が正常に反転し ない場合があります。
- ワードスイッチの[データ加算/データ減算]で、[データ形式]がBCDで加算(または減算)を 行った結果がマイナスになる場合、以下のようになります。
  - 例) 1 10 = 9991 (10001 10)
    - 9 10 = 9999 (10009 10)
- ワードスイッチの[データ加算/データ減算]、[桁加算/桁減算]で[連続加算(減算)機能]を 設定している場合、ディレイ機能は使用できません。
- ワードスイッチの[データ加算 / データ減算]、[桁加算 / 桁減算]で[連続加算(減算)機能]を 使用する場合、接続機器(PLC など)との通信による書き込みが追随せず、一時中断する場合が あります。
- タッチしている間、スイッチの色は反転表示されます。反転表示色は変更できません。

ランプ機能を設定した場合は反転表示されません。またスイッチをタッチしている間(反転表示中)に、インターロック中表示やディレイ中表示に切り替わることはありません。部品の色の表示優先順位は以下のようになります。

インターロック中表示 優先高
 ディレイ中表示 
 反転表示またはランプ表示 優先低

- [形状選択]でイメージ部品(BPD ファイル)を選択した場合は、イメージ部品そのものに色が設 定されていますので、カラーの設定変更はできません。
- 銘板の文字数・行数によって部品の縮小が制限される場合があります。
- 銘板設定で[文字列テーブル]を選択した場合、配置される部品のサイズは指定した文字数×文字 行数に対応した大きさで表示されます。テーブルを切り替えても部品のサイズは変わりません。
- 作画画面上で表示している銘板の文字と、実際に GP で表示される文字では表示イメージが異なる 場合があります。
- インターロック機能を設定しているスイッチは、画面切替時および電源投入時に[インターロックアドレス]に指定したアドレスの接続機器と通信していない場合、スイッチ自体が動作しません。(内部デバイスアドレスを指定している場合は動作します。)
- 異なる2ヶ所を同時にタッチしてもタッチ入力を認識しません。
   そのため、同時に2点押しはしないようにしてください。
- モーメンタリスイッチを押している間に、スイッチの配置していない箇所を押しっぱなしにする とモーメンタリスイッチから手を離しても、ONしたままになります。

### 10.17.2 ディレイ機能の制限事項

• [セレクタスイッチ]では、ディレイ機能は使用できません。

ON ディレイ

- スイッチの機能が有効になる前に指を離すと処理は行われません。その際、スイッチの外観 (カラー・銘板)は通常時の状態のままで、ブザー(タッチ音)も鳴りません。
- インターロック機能が設定されている場合、インターロック有効時には ON ディレイ動作は行われません。また ON ディレイ動作中(処理待ちの状態)にインターロックが有効となった場合は、 処理待ち状態は解除され、処理は行われません。
- ON ディレイ動作中(処理待ちの状態)に画面の切り替えを行ったりウィンドウを閉じた場合、切り替えた時点で処理待ち状態は解除され、処理は行われません。
- ON ディレイ動作中に接続機器 (PLC など)からそのビットが操作された場合、ON ディレイ機能 は無効になります。

OFF ディレイ

- [ビットモーメンタリ]の場合のみ、指定しているビットを OFF します。ビットセットやビット反転、ワードスイッチなど、モーメンタリ動作をしないスイッチは OFF できません。
- OFF ディレイ動作中(OFF 待ちの状態)に画面の切り替えを行った場合は、OFF 待ちの状態が終わるのを待ってから画面が切り替わります。また OFF ディレイ動作中のスイッチがウィンドウ上にある場合も、OFF 待ち状態が終わるのを待ってからウィンドウが閉じます。
- OFF ディレイ動作中に接続機器 (PLC など)から画面切り替え要求が発生した場合は、画面切り 替え要求発生後からディレイ時間の間はタッチが効きません。

2 度押し

- 指定した時間を過ぎて2度目のタッチをしてもスイッチは有効になりません。
- インターロック機能が設定されている場合、インターロック有効時には2度押し待ち状態にはな りません。また2度押し待ち状態中にインターロックが有効となった場合は、2度目のタッチがで きなくなるためスイッチは有効になりません。
- 指定した時間内に他のスイッチを押すと、2度押し待ち状態が解除されます。
- 指定した時間内に画面の切り替えを行ったりウィンドウを閉じた場合は、切り替えた時点で2度 押し待ち状態が解除されます。

### 10.17.3 マルチファンクション機能の制限事項

- 1個のスイッチに 16 個までスイッチ機能を設定できます。
- [画面切替]の動作は常に最後に処理されます。順番を変えることはできません。
- 以下のスイッチ機能はマルチファンクション化できません。
  - グループ機能([グループ]、[自動 OFF 付きグループ])を設定したビットスイッチ
  - 特殊スイッチの[本体リセット]、[オフライン]スイッチ
  - セレクタスイッチ
- ・ 以下のスイッチ機能は、1つのスイッチに対して同じ機能を複数設定できません。
  - 特殊スイッチ
  - 画面切替スイッチ
  - マルチファンクション化できないスイッチ
- 複数の機能を設定した中に[ビットモーメンタリ]動作のビットスイッチがあった場合でも、ブ ザー音はタッチした瞬間だけ鳴ります。
- 複数の機能を設定した中に、[画面切替]と[モーメンタリスイッチ]が同時に設定されていた場合、[モーメンタリスイッチ]が ON されても検出できないことがあります。
   確実に検出させるためには、[モーメンタリスイッチ]ではなく、[ビットセット]を使用したうえで、切替先画面でスクリプトかトリガアクションにより、このビットを OFF するようにしてください。

### 10.17.4 グループ機能の制限事項

- グループ機能を使用したスイッチはマルチファンクション化(1個のスイッチに複数の機能を持た せること)はできません。
- ベース画面上にあるスイッチと、呼び出したウィンドウ画面上のスイッチが同じグループ番号で あっても、同じグループとして扱うことはできません。
- [グループ]と[自動 OFF 付きグループ]のグループ番号は、別のものとして扱われます。
- [自動 OFF 付きグループ]を設定すると、画面切り替え時に自動的にビットが OFF されます。 ウィンドウ上に配置している場合も、ウィンドウを閉じた際にビットが OFF されます。

### 10.17.5 セレクタリスト部品の制限事項

- GP-3300 シリーズは Rev.4 以上の機種のみこの機能を使用できます。
- セレクタリスト部品を複数配置した場合に、同時に複数のセレクタファンクションリストを表示 することはできません。
- セレクタファンクションリストのウィンドウは4ドット単位で作成されます。
- 画面呼び出しなどでウィンドウ作成位置が4ドット単位以外のときは、ずれて表示されます。
- 角度が0度/180度で横幅のサイズが4ドット単位でない場合、スクロールバーがあるときはスクロールバーのサイズ合計4ドットに合わせて小さく表示されます。
   スクロールバーがないときはセレクタファンクションリストの表示の横幅が小さくなります。
   (最大3ドットずれます。)
- 角度が 90 度 /270 度で縦幅のサイズが 4 ドット単位でない場合、最後のセレクタファンクション リストの領域を合計 4 ドットに合わせて大きく表示します。(最大 3 ドットずれます。)
- セレクタリスト部品は1画面上に同じ部品 ID を配置しても表示することができません。また動作 も行いません。

画面呼び出しなど同じ ID がある部品を呼び出しても最初に表示したものしか動作しません。

- ウィンドウ画面には設定することができません。
- 画面呼び出しでウィンドウに設置しても何も表示されません。